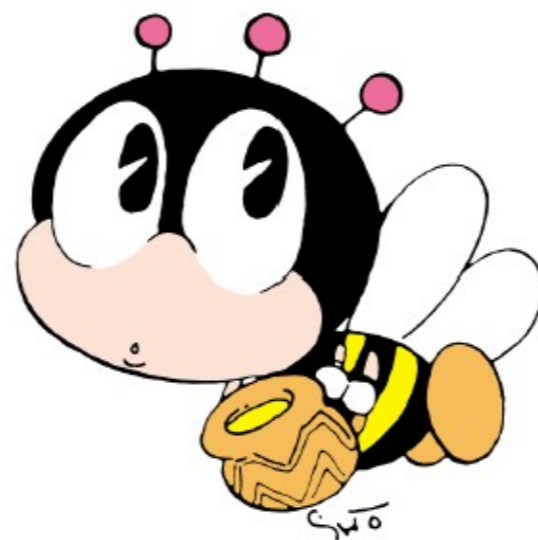


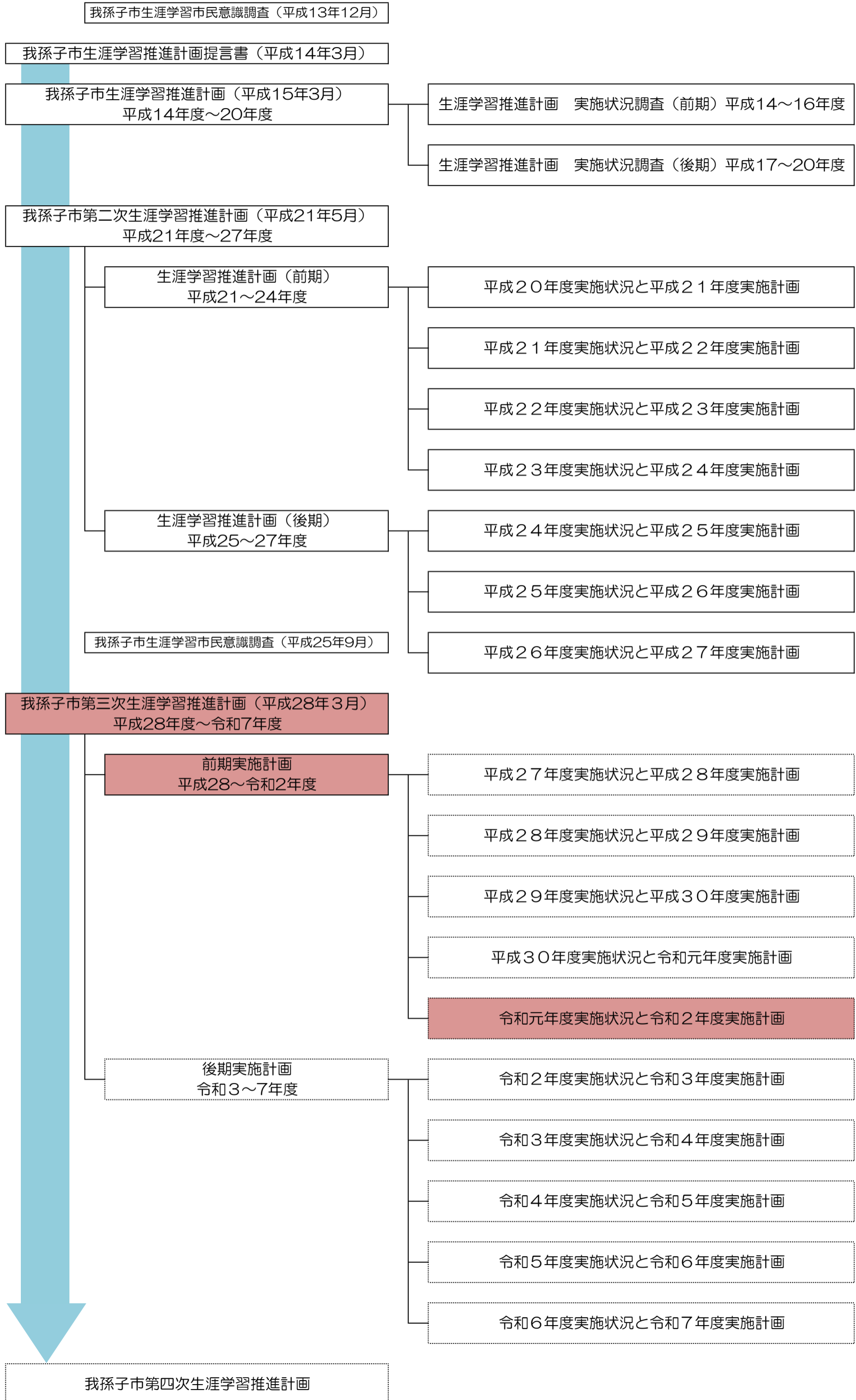
# 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査集計表

～令和元年度実施状況と令和2年度実施計画～



令和2年11月

# 我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



# 計画の体系

※個別事業名の塗りつぶしはH28から変更したもの 17事業(うち再掲2事業)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
1 いつでも 情報を得られ、 相談できるまちづくり (39事業)	①学びへの 情報提供体制の充実 (21事業)	1 暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	秘書広報課	1
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1
		4 財政情報の提供	財政課	1
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2
		6 バリアフリー情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	2
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	2
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3
		10 都市計画に関する情報の提供	都市計画課	3
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	3
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4
		13 あびバス景観マップの作成【H29事業完了】	都市計画課	4
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	4
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	5
		17 生涯学習情報提供システムの整備【H29事業廃止】	生涯学習課	5
		18 あびこ電脳考古博物館の運営	文化・スポーツ課	5
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	6
		20 図書館の情報化推進	図書館	6
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	6
	22 生涯学習相談体制の整備【再掲153】	生涯学習課	7	
	23 生涯学習人材バンクの整備【再掲129】	生涯学習課	7	
	24 生涯学習ボランティア【再掲131】	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	7	
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出【再掲164】	生涯学習課	8	
	26 図書館カウンターサービス	図書館	8	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス	図書館	8	
	28 交通安全普及啓発活動の推進	市民安全課	9	
	29 集団健康教育	健康づくり支援課	9	
	30 健康フェア【再掲174】	健康づくり支援課	9	
	31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	9	
	32 石けん利用の推進	商業観光課	10	
	33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	10	
	34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	10	
	35 生涯学習推進委員会の運営	生涯学習課	10	
	36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	11	
	37 読書普及活動	図書館	11	
	38 図書館PR	図書館	12	
	39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	12	
②学びにつなげるための 相談体制の充実 (6事業)				
③学びへの 関心を高めるための啓 発の充実 (12事業)				

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり（57事業）	①地域への関心を高める学びの機会の推進（16事業）	40 まちづくり探検隊【H28事業廃止】	子ども支援課	13
		41 子どもの居場所づくり事業(あびっこクラブ)〔再掲177〕	子ども支援課	13
		42 谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	13
		43 手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	14
		44 手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	14
		45 ジャパンバードフェスティバルの開催〔再掲175〕	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	14
		46 地区計画制度の活用の支援	都市計画課	14
		47 我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	15
		48 市民カレッジ 我孫子を知るコース〔再掲157〕【H30No.66-68へ統合】	生涯学習課	15
		49 市史調査研究	文化・スポーツ課	16
		50 郷土芸能への支援〔再掲147〕	文化・スポーツ課	16
		51 文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	16
		52 埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	16
		53 考古遺物整理	文化・スポーツ課	16
		54 あびこ自然観察隊	鳥の博物館	17
		55 てがたん(手賀沼の自然観察会)	鳥の博物館	17
		56 子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	18
		57 後期離乳食教室	健康づくり支援課	18
		58 しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	18
		59 離乳食教室	健康づくり支援課	18
		60 手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	19
		61 あびこ子どもまつり〔再掲150〕	子ども支援課	19
		62 げんきフェスタ〔再掲151〕	子ども支援課	19
		63 enjoy!ババ応援プロジェクト【R2No.64へ統合】	保育課	20
		64 子育て支援施設における講習	保育課	20
		65 こども議会	指導課	20
		66 長寿大学〔再掲154〕	生涯学習課	21
		67 成人式	生涯学習課	21
		68 熟年備学	生涯学習課	21
		69 家庭教育学級〔再掲155〕	生涯学習課	22
		70 のびのび親子学級〔再掲156〕	生涯学習課	22
		71 アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	23
		72 子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	23
	73 成人・青少年への図書館サービス	図書館	24	
	74 児童への図書館サービス	図書館	25	
	75 子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	25	
	76 男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	26	
	77 平和事業	企画課	26	
	78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	27	
	79 メンタルヘルス啓発講座	障害福祉支援課	27	
	80 失語症家族教室	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	27	
	81 手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	27	
	82 家族介護教室	高齢者支援課	28	
	83 認知症の方の家族のつどい「あびこ」	高齢者支援課	29	
	84 介護予防講演会	高齢者支援課	29	
	85 高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	29	
	86 遊具うんどう教室	高齢者支援課	30	
	87 環境学習の推進	手賀沼課	30	
	88 消費生活講座	商業観光課	31	
	89 緑の講習会	公園緑地課	31	
	90 栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業	学校教育課	32	
	91 生涯学習出前講座の運営〔再掲127〕	生涯学習課	32	
	92 生涯学習推進事業	生涯学習課	33	
	93 人権教育	生涯学習課	34	
	94 スポーツ教室事業【H30No.36へ統合】	文化・スポーツ課	34	
	95 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～〔再掲167〕	文化・スポーツ課	34	
	96 鳥の博物館企画展の実施	鳥の博物館	34	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり（30事業）	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実（26事業）	97 市民農園維持管理事業	農政課	35
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	35
		99 ふれあい工房の運営管理事業【R2事業廃止】	クリーンセンター	36
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	36
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	36
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	37
		103 湖北地区公民館空調設備更新工事【H28事業完了】	生涯学習課	37
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	37
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	37
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	38
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	38
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	38
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	38
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	39
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	39
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	39
		113 杉村楚人冠邸の保存と活用	文化・スポーツ課	40
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	40
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	40
		116 手賀沼文化拠点整備計画の推進【H30事業完了】	文化・スポーツ課	41
		117 移動図書館業務	図書館	41
		118 図書館の整備	図書館	41
		119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	42
		120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	42
		121 鳥の博物館空調設備更新工事【H28事業完了】	鳥の博物館	42
		122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	42
123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	43		
124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	43		
125 手賀沼エコマラソン支援事業【再掲148】	文化・スポーツ課	43		
126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力【再掲183】	図書館	44		
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり（22事業）	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充（6事業）	127【再掲】生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	45
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	45
		129【再掲】生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	45
		130 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	45
		131【再掲】生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	45
		132 文化事業市民スタッフの活用	文化・スポーツ課	45
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充（9事業）	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	46
		134 失語症会話パートナー養成講座【H29事業終了】	障害福祉支援課（障害者福祉センター）	46
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	46
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	47
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	47
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	47
		139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施【H29事業廃止】	生涯学習課	47
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	48
141 スポーツ指導者の研修制度の確立【H30No.36へ統合】		文化・スポーツ課	48	
③学んだ成果を評価するしくみの構築（7事業）	142 市民コンサート【R2No.144へ統合】	文化・スポーツ課	49	
	143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	49	
	144 文化祭	文化・スポーツ課	49	
	145 寄贈絵画展【R1事業廃止】	文化・スポーツ課	49	
	146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	49	
	147【再掲】郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	49	
	148【再掲】手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	49	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
5 学びでつながるまちづくり（37事業）	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実（9事業）	149 市民の子カラまつりの実施	市民活動支援課	50
		150 <b>【再掲】</b> あびこ子どもまつり	子ども支援課	50
		151 <b>【再掲】</b> げんきフェスタ	子ども支援課	50
		152 学校支援事業の充実	指導課	50
		153 <b>【再掲】</b> 生涯学習相談体制の整備	生涯学習課	50
		154 <b>【再掲】</b> 長寿大学	生涯学習課	50
		155 <b>【再掲】</b> 家庭教育学級	生涯学習課	50
		156 <b>【再掲】</b> のびのび親子学級	生涯学習課	50
		157 <b>【再掲】</b> 市民カレッジ 我孫子を知るコース <b>【H30No.66・68へ統合】</b>	生涯学習課	50
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成（13事業）	158 在住外国人支援事業	企画課	51
		159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	51
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	51
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	52
		162 <b>我孫子市創業支援等事業</b>	企業立地推進課	52
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	53
		164 <b>【再掲】</b> 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	53
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	53
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	53
		167 <b>【再掲】</b> スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	53
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築（15事業）	168 <b>施設・団体への図書等の貸出サービス</b>	図書館	54
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	54
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	54
		171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画課	55
		172 消費生活展の実施	商業観光課	55
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	55
		174 <b>【再掲】</b> 健康フェア	健康づくり支援課	55
		175 <b>【再掲】</b> ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	55
		176 <b>青少年相談員連絡協議会への支援</b>	子ども支援課	56
		177 <b>【再掲】</b> 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	56
		178 子育てフェスタ	保育課	56
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	56
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	56
		181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	57
		182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	57
		183 <b>【再掲】</b> 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	58
		184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	58
		185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	58

事業No塗りつぶし(濃)  事業完了、終了、廃止、統合 16事業(うち再掲1事業)

事業No塗りつぶし(薄)  進行管理が行える計画あり 9事業(うち再掲3事業)

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり				基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり				
①学びへの情報提供体制の充実								
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	1	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行 市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。ここでは平成25年度から発行しているガイドブック「ABI ROAD」について記載する。 ●ガイドブック「ABI ROAD」 ・日本語版を1万4000部増刷し、県内外の観光情報発信拠点、東葛地区の不動産店舗・大型スポーツショップ等に配置した。 ●暮らしの便利帳 ・発行なし  ◇◆指標と実績◇◆ ●ガイドブック「ABI ROAD」配布部数… 日本語版 13,950部、英語版 895部、中国語版 235部、韓国語版 280部	A. 成果・効果があった 都内や県内で特に日本語版の人气が高く、想定よりも早く在庫がなくなった。  平成29年度に作成したもののため、一部情報が古くなっている。	A. 現状どおり推進 「暮らしの便利帳」は事業手法を見直し、最新の行政サービスなどを市ホームページに掲載する。 ABIROADについては、令和2年度に内容の改定を行う。併せて、インバウンド需要の取り込みに向けて簡体字版を新たに作成する。	基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	「暮らしの便利帳」は事業者からの広告収入で発行しているが、様々な課で広告収入による情報誌の発行が増えたこと、また新型コロナウイルス感染症の影響により、広告収入を見込むのは困難であることから事業手法を見直し、令和2年度は、文字データ化し、最新の行政サービスなどに修正して市ホームページに掲載する予定。 「ABIROAD」は、嘉納治五郎の銅像など内容を一部改訂、併せて新たに簡体字版を作成し発行予定。	秘書広報課
	2	広報「あびこ」の編集・発行 市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	【広報あびこ発行部数】 平成31年4月16日号～令和2年4月1日号 47,000部  前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。 ●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。  ◇◆指標と実績◇◆ 【広報あびこ発行部数】 平成31年4月16日号～令和2年4月1日号 47,000部	A. 成果・効果があった 施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	A. 現状どおり推進 市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。			秘書広報課
	3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	男女共同参画情報誌「生き方&働き方ダイバーシティ」 【発行回数】 年1回(3月) 【発行形式】 A5判、16ページ(全ページカラー) 【発行部数】 2,000部  ◇◆指標と実績◇◆ 発行回数と発行部数: 年1回、2,000部	A. 成果・効果があった 次号までの短期間配布になりがちな定期発行をとりやめ、比較的長期間手元に置いて読んでもらえるよう、内容を充実させた。自治会を通じての配布方法を見直し、今回取材先の千葉銀行本部・市内各支店、ショッピングセンターの子育てイベントなどに依頼し設置先を広げた。さらに、県外施設や近隣大学等での配布、国の関係機関メールマガジンへの掲載など、市外にも積極的にPRした。	A. 現状どおり推進 引き続き年1回程度発行し、SNSなどを活用してPRしていく。			秘書広報課
	4	財政情報の提供 広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》 平成31年度予算の概要 《7月》 平成30年度予算の使われ方 《11月》 令和2年度予算編成方針 《12月》 市の財政状況「平成30年度普通会計決算と令和元年度上半期の執行状況」 《3月》 平成30年度普通会計財務書類4表 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページ閲覧数】 ・目標値 9,000件 ・実績 23,891件	A. 成果・効果があった ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。	A. 現状どおり推進			財政課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	食に関する情報の提供及び啓発の充実	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関する事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルやフードモデルを用いて啓発活動を実施する。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。 ●食育だより 【発行月】6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】13,100枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」を開催。平成31年度の利用は、3回68名。なお「メタボを防ごう！ 肥満解消！ 時短簡単クッキング！」(調理実習)も設定はあったが、利用者はなかった。 ●公民館講座 「家庭教育学級」及び「のびのび親子学級」において食についての講話・調理実習を開催。平成31年度は、それぞれ2コース41名、3コース53組(106名)に対し実施。 ●がん集団検診での啓発展示 平成31年度に実施した集団検診(胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診)の会場で啓発展示を行った。 ●健康フェアでの啓発展示 市で行う健康に関するイベントにおいて野菜摂取に関する啓発(展示・声掛け)を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【食育便り発行枚数】61,555枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか96.8%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	調理実習が含まれる講座は実施しない。啓発を行う場合は密にならないように注意しながら行う。フードモデルの展示は行わない。	健康づくり支援課	
	バリアフリー情報提供事業	市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果に基づいてホームページ「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の掲載内容更新を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページへのアクセス数】18,170件	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、バリアフリー調査を令和2年度は縮小する予定。	障害福祉支援課 障害者福祉	
	子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回16,300部を発行 【配布場所】市内幼稚園・保育園等、小中学校、公共施設に直接配布し広く市民に届ける。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体等で組織する「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信している。 ●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、「あびっ子ネット」ホームページを運営。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行なう。 ◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】 年5回発行 新緑号 31年4月24日発行 16,300枚 夏特大号 R1年7月12日発行 16,300枚 秋号 R1年10月4日発行 16,300枚 冬号 R1年12月6日発行 16,300枚 春号 R2年3月6日発行 16,300枚	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	予定していた実施内容は令和元年度と同様だったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い夏号の発行を休止した。秋号以降の発行についても発行時期をずらすなど通常とは異なる形での対応を検討する必要があるが生じている。	子ども支援課	



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	8	子育て支援情報の発信 乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「保育園・幼稚園などの地域子育て支援」「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」 ●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 ●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」・イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ)の作成 ・「enjoyパパ」・「子育て支援施設」・「子育て支援サービス」など、子育て支援センターのタッチパネルでの情報提供 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿 ●窓口・電話による子育て情報提供(子育てコンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】10月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ◇◆指標と実績◆◇ 【相談件数】940件	A. 成果・効果があった 利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。	A. 現状どおり推進 子育て支援施設での相談対応を定期的に行い、利用者が気軽に相談できる体制を作っていく。		保育課
	9	手賀沼情報の提供 手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや広報で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。 【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計21箇所 ◇◆指標と実績◆◇ 【掲示場所】21箇所	A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板をきっかけにしたお問い合わせもあった。	A. 現状どおり推進	手賀沼中央地点のCOD数値について、表層値+下層値の平均(平均値)を掲載した。	手賀沼課
	10	都市計画に関する情報の提供 都市計画とは何か、都市計画法等の法令内容に沿って概要を説明するとともに、我孫子市における都市計画の内容について事例を用いて説明する。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計9542件 (我孫子市の都市計画の概要:1115件、高度地区の規定について:834件、都市計画図検索画面:7593件)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進 常に情報を更新し、正確に情報を提供する。		都市計画課
11	都市計画図等の作成・管理事務 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【販売枚数】70枚(都市計画図:39枚、白図:31枚)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。 地形図が古い(作成H19年度)	B. 改善・見直しを行う 地形図を更新するため、令和2年度より我孫子市都市計画基本図修正業務委託を実施する。	令和2年度より我孫子市都市計画基本図修正業務委託を実施。令和3年度より地形図を更新する。	都市計画課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点			
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	① 学びへの情報提供体制の充実	12	<b>景観形成情報発信・啓発事業</b> 多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	1. 我孫子のいろいろ八景歩き」の開催 我孫子のいろいろ八景に選ばれた市内の魅力的な景観ポイントを、市民ガイドと巡るまち歩きイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を4回開催。計73人の参加があった。 ◆「我孫子のいろいろ八景歩き」開催実績（令和元年度） ①「白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース」 【実施日】10月17日（木）【参加者】23人 ②「ハケの道と坂道の岡尻戸こもれびコース」 【実施日】10月24日（木）【参加者】14人 ③「湖北台のまちなみと田園コース」 【実施日】10月31日（木）【参加者】15人 ④「新木・古戸の古社と里を巡るコース」 【実施日】11月7日（木）【参加者】21人 2. 我孫子のいろいろ八景パネル展示 市内の公民館や近隣センター等の公共施設（計12施設）で、我孫子のいろいろ八景を紹介するパネルを展示（実施期間：令和元年11月～令和2年3月）。 3. 中央学院大学の学園祭における我孫子のいろいろ八景の普及・啓発活動（※令和元年度初実施） 若い世代に景観への興味・関心をもっといただくための取り組みとして、中央学院大学の学園祭「あひこ祭」に出展し、我孫子のいろいろ八景の写真の展示や、スライドを上映しながら市民ガイドが各八景の見どころ等を解説する「居ながら八景歩き」を行った。 4. 「我孫子のいろいろ八景歩き」コースマップ等の配布 我孫子のいろいろ八景を巡る散策コースマップ（計12コース）をはじめ、我孫子のいろいろ八景に関する発行物の改訂・増刷を行い、市内・市外の公共施設等で配布した。 ◇◆指標と実績◆◆ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…73人	A. 成果・効果があった 令和元年度の「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者アンケートの結果では、全員から本事業は景観に関心を持っていた上で効果があるとの回答が寄せられた（※「効果がある」…87.7%、「やや効果がある」…12.3%）。 また、我孫子のいろいろ八景の散策コースマップは、一部の施設では設置から程なくして補充が必要になるほど好評を得ている。 「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を年代別に見ると、60代以上が大半を占めている。若い世代に景観に興味・関心をもっといただくための工夫や仕掛けづくりが課題。	A. 現状どおり推進	より多くの方に我孫子の景観をPRするため、我孫子のいろいろ八景パネル展示について、新たに「水の館」と「道の駅しょうなん」での実施を予定している。	都市計画課
	13	<b>あびバス景観マップの作成</b> 多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	平成29年度をもって事業完了のため廃止 ◇◆指標と実績◆◆					都市計画課
	14	<b>住宅情報の総合的提供</b> 市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	市ホームページや広報を活用した他、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。 ●住まいに関わる情報発信（ホームページ） ・住まいに関わる相談（住宅、不動産相談） ・マンション管理（セミナー、個別相談） ・住まいに関わる助成、補助（若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金など） ・空き家バンクの運営、空き家等の流通促進や活用支援 ・市営住宅（入居募集、団地詳細）（広報等） ・住宅、不動産相談（4/1、5/1、6/1、7/1、9/1、10/1、11/1、12/1、1/1、2/1、3/1） ・若い世代の住宅取得補助金（4/1、7/1、10/1、2/16） ・我孫子市住宅リフォーム補助金（4/1、7/1、10/1、1/1） ・マンション問題個別相談会（4/1、10/1） ・マンション管理セミナー（6/1、10/1） ・市営住宅入居募集（7/1） ・空き家バンク（7/1、10/1、2/16） ◇◆指標と実績◆◆ 【各制度の申込件数】 住宅相談：9件 不動産相談：19件 マンション管理セミナー：7団体、個別相談：9団体 若い世代の住宅取得補助金：446件 住宅リフォーム補助金：210件（内、中止8件） 空き家バンク新規登録：2件	A. 成果・効果があった 住宅リフォーム補助金や若い世代の住宅取得などの住まいに係る補助制度については、関連する制度と併せて記事を掲載するなどの効果的な情報発信により、前年度と比較して申請件数が増えたことから、成果があったものと思われる。 リフォーム補助金や住宅・不動産相談の利用者は比較的高齢の方が多いため、HPでの情報提供が困難な場合がある。このことにより、電話や窓口でのご案内の機会が多くなり、より丁寧でわかりやすい説明が必要となる。	A. 現状どおり推進	●ホームページ 若い世代の住宅取得補助金制度について、よりわかりやすい構成へ変更した。 ●各相談会 コロナの影響により相談会が開催できないことが多く、その場合には電話対応が可能な関係団体の相談窓口の紹介を行った。	建築住宅課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
15	水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<p>【「あびこの水道」発行部数】 48,500部 年2回の発行</p> <p>●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(No.52:5月16日号、No.53:11月1日号)発行 ・市内では新聞折り込み等により配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・市Webサイトに掲載</p> <p>●水道施設見学会 【対象者】市内在住の小学生とその保護者 【募集人数】24人 【実施日】令和元年7月31日【参加者数】23人</p> <p>●水道水のPR活動 ・市内で行われた複数のイベントで、我孫水(ペットボトル水)の配付や給水車による給水を行い、水道水の安全性、おいしさをPRした。 ◇◆指標と実績◆◇ 【「あびこの水道」発行部数】 48,500部 (年2回 97,000部)</p>	A. 成果・効果があった 水道施設見学会実施後のアンケートでは、楽しかった、わかりやすかったといった意見をいただいた。	A. 現状どおり推進		水道局経営課	
	生涯学習情報の発信 各課で実施する生涯学習関連事業について、「生涯学習情報」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用の拡大を図る。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	<p>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。 ●生涯学習情報 生涯学習の情報紙として発行。 【発行回数・部数】1回(38号)、700部 【配付先と設置場所】教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アピスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アピシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、子ども発達センター 【発行月】2月 【内容】イベント情報、日本で唯一の鳥の博物館、成人式、のびのび親子学級OG活動中!、人財!トビックス(鳥の博物館斉藤館長)〜つなごう、我孫子の力を次の世代へ〜、Pickup(段ボールで作る恐竜チェア)、長寿大学(地域で自分がでていること)</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】 3,778件</p>	B. あまり成果・効果がなかった 前年度よりホームページのアクセス数が下がり、的確な情報提供ができていないのか疑義がある。	B. 改善・見直しを行う ホームページの更新頻度や内容を見直していく必要がある。		生涯学習課	
	生涯学習情報提供システムの整備 学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	<p>【H29年度事業廃止】</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p>				生涯学習課	
18	あびこ電腦考古博物館の運営 我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財、刊行物などの情報更新を行っていく。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 150,481件</p>	A. 成果・効果があった 情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができた。	A. 現状どおり推進	よりわかりやすいホームページにするよう、情報を整理する。	文化・スポーツ課	

基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	19 図書館における郷土・行政資料サービス 多くの市民に我孫子市や千葉県 の郷土や行政に関心を持ってもら うため、郷土・行政資料の取 集・保存・提供に努め、学びたい 時に学べる学習機会の充実を 図る。我孫子市の資料について は、アビスタ本館が中心となり、 収集・保存する。	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料につ いては、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」 の運営及び講座の開催を行った。 ◆◆指標と実績◆◆ 【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 2,967冊(昨年度比 87.7%)	A. 成果・効果があった 我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市 民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一 助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業 のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の 運営にあたっては、今後も白樺文学館、 杉村楚人冠記念館と連携していくことが 欠かせない。また、他の市内文化施設と も連携して展示や資料提供の工夫をして いく必要がある。	A. 現状どおり推進 郷土資料の買い替えや複 本の購入を進め、市役所 各課と連携することで、我 孫子市でしか入手できない 資料を収集・保存・提供で きた。我孫子市として後世 に伝えていくべき文化遺産 を今後も収集・保存・提供し ていくため、引き続き推進 していく。		図書館	
	20 図書館の情報化推進 図書館の電算システム等を用い し、市民の利便性の向上を図る とともに、過去の出来事や事件 を手軽に調べることができる新 聞の有料データベースにより情 報提供を行い、知る自由を保障 する。	図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。 館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。 新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。 ◆◆指標と実績◆◆ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 97千件(昨年度比 97%)	A. 成果・効果があった 高度なレファレンス(調べもの)に対応す るため、外部データベースの導入及びイ ンターネットの活用は必要不可欠だった。 電算システムを的確に運用することによ り、市民の利便性が向上した。 市民の図書予約システムの認知度を向 上させる必要がある。	A. 現状どおり推進 次期電算システムの更新 (2021年度)に向けて検討 を進めていく。	新型コロナウイルス感染症対応のため、電子書籍 の導入について検討を進めていく。	図書館	
	21 鳥の博物館ホームページの運 営 鳥の博物館専用ホームページを 運営し、鳥の博物館のイベント 情報、企画展のお知らせ等、博 物館事業の情報提供を行う。	鳥の博物館で実施する企画展やイベント情報など最新情報を発信した。 ◆◆指標と実績◆◆ 【鳥博トップページアクセス数】 51775回	A. 成果・効果があった 全国に広く鳥博の展示・イベント情報を発 信するほか、ショップグッズについてもオ リジナル商品を紹介し、多くの人に鳥博を 知ってもらう。 更に多くの方に来館してもらえるよう工夫 をする。	A. 現状どおり推進 より魅力ある情報を発信し ていく。	鳥の博物館開館30周年の年であることを多くの方 にお知らせする。(これまでの企画展のポスターを 掲載するなど)	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点				
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無					
②学びにつなげるための相談体制の充実									
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	②学びにつなげるための相談体制の充実	生涯学習相談体制の整備	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。  《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◇◆ 【学習相談件数】 約24件	A. 成果・効果があった  市民講師講座数自体は微減だったが、3月がコロナウイルスの影響で出前講座を実施出来なかったにも関わらず、利用件数は昨年並みであった。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	②学びにつなげるための相談体制の充実		生涯学習課	
		生涯学習人材バンクの整備	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。  【令和元年度末 人材情報登録件数】 令和元年度 75人  【令和元年度末 団体・グループ情報】 令和元年度 134団体  ◇◆指標と実績◇◆ 【新規登録件数】 人材情報 2件、団体情報 2件	A. 成果・効果があった  「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。	A. 現状どおり推進  「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」を3年毎に更新する。次回令和3年度予定。				生涯学習課
		生涯学習ボランティア	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。  《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 8人 あびっこクラブサポーター 212人 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 16人 子育てサポーター 79人 保育園における災害時協力員 36人 インターンシップ 10人 《指導課》 学校支援ボランティア 延44,592人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 31人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 27人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 14人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 9人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 50人、7団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 12人 ◇◆指標と実績◇◆ 【令和元年度 ボランティア登録数】 《個人登録数》 504人 《団体登録数》 26団体	A. 成果・効果があった  多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進				

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出  現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	<p>保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。</p> <p>●視聴覚教材及び機材の貸出（通年） 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚教材利用件数】 166件 【視聴覚教材利用件数】 16ミリフィルム:45件 ビデオソフト:0件 DVD:58件 合計 103件</p> <p>●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム:325本 ・ビデオソフト:187本 ・DVD: 231本</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【視聴覚ライブラリー利用件数（機材・教材の合計）】 273件(団体・個人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>定期的に使っている団体や、公民館等への長期貸出を行っており、需要に対しての供給を行うことができています。</p> <p>機材の故障・老朽化のため貸出できる機材に限りがあり、貸出が集中すると対応しきれないことがある。</p>	A. 現状どおり推進		生涯学習課
	26 図書館カウンターサービス  図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<p>・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。</p> <p>・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館は午後8時まで閉館した。</p> <p>※台風19号のため、10月12日は全館休館、10月13日は全館正午に閉館した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月14日から3月31日まで全館臨時休館した。</p> <p>・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。</p> <p>・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出冊数】 982,928冊(昨年度比 95.7%) 【年間貸出利用者数】 259,520人(昨年度比 96.4%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市の1人あたりの貸出冊数は県内トップクラスであり、多くの市民が利用した。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。</p> <p>研修への参加及び個別指導等により、職員だけでなく会計年度任用司書職員(司書)のスキルアップを行う。</p>	A. 現状どおり推進	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策のため、来館者に、アビスタ入館時の手指消毒、入館者カードの記入、館内マスク着用等の協力を依頼している。</p>	図書館
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス  録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジラー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。</p> <p>また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 37回 《郵送貸出サービス(デジラー録音図書含む)》 973回 《宅配サービス》 185回 《窓口でのデジラー録音図書貸出》 467点</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。</p> <p>ハンディキャップサービスの利用増に努める必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<p>変更はないが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月現在において、対面朗読サービスは実施していない。</p> <p>様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにも、PR等の工夫をして一層の利用促進に努める必要がある。</p>	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 1 ③学びへの関心を高めるための啓発の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	28	交通安全普及啓発活動の推進 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全普及啓発を図る。	<p>保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。</p> <p>【日程・対象・参加者数】 &lt;4月～2月実施&gt; 延べ実施校等：保育園 6園・幼稚園 2園・小学校 18校・中学校 3校・高校12校 延べ開催回数：51回 参加人数：3,408人 ◇◆指標と実績◆◇ 【交通安全教室延べ開催回数】 42回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市の交通事故発生件数は、令和元年では280件と前年より5件減少となった。 このうち子ども(中学生以下)の発生件数は令和元年は15件。昨年並み(平成30年16件)の件数に抑えられた。</p> <p>小中学校での交通安全教室における実技実施に際し、実施校や教育委員会にもスタッフとして人員協力をお願いしたい。</p>	A. 現状どおり推進	③学びへの関心を高めるための啓発の充実	市民安全課
	29	集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。</p> <p>【内容】がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数8,978人(集団：子宮頸がん検診2,637人、乳がん検診3,793人(マンモグラフィ検査2,762人、超音波検査1,031人)、胃がん検診2,109人、骨粗しょう症検診439人) ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者(延べ人数)】 8,978人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>疾病の一次予防の推進を図ることができたと考えます。</p> <p>集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、健康教育を短時間で実施し、詳細は配布資料を参照いただくよう伝えている。	健康づくり支援課
	30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	<p>市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。</p> <p>【日程】11月24日 【場所】アビスタ(手賀沼公園内) 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【共催】千葉県国民健康保険団体連合会 【内容】テーマ「家族で健活イキイキライフ」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施。 【参加者】延べ2,852人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来場者アンケート】 «「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合» 96.6%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が96.6%を占めた。事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考えます。</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催するか検討中です。	健康づくり支援課
	31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	<p>イベントや小学生を対象にした施設見学は、新廃棄物処理施設建設工事が完了する令和4年度末まで休止。</p> <p>広報やHP、SNSを活用し排出抑制やリサイクルのための分別の呼びかけ</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ ホームページへのアクセス数</p>	<p>C. 未実施・わからない</p> <p>広報等を活用した周知啓発は、効果が数値として把握できない。</p>	A. 現状どおり推進	イベント、施設見学を除き現状通り。	クリーンセンター

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	石けん利用の推進	<p>●保育園などでの啓発</p> <p>①【日程】6月22日【場所】恵愛子ども園【参加者数】94人 ②【日程】7月6日【場所】湖北台保育園【参加者数】125人 ③【日程】7月20日【場所】川村学園女子大学保育園【参加者数】192人 ④【日程】8月9日【場所】わくわく広場【参加者】27人 ⑤【日程】8月19日【場所】にこにこ広場【参加者】23人 ⑥【日程】9月7日【場所】アビクオーレ2階なかよし広場【参加者】267人</p> <p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月20日【場所】アビスタ【参加者数】64人</p> <p>●イベント参加 《産業まつり》 【日程】10月20日【場所】湖北台中央公園【参加者数】約600人 ◆◆指標と実績◆◆ 【来場者数】 792人(産業まつりを除く)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>親子で参加することで、コミュニケーションの場として、学ぶことの楽しさを提供することができた。また、石けんに興味をもってもらうことができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>事業としては現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、実施できる事業を行う。</p>	<p>新型コロナウイルスはせっけん退治!!のパネルを作成し、消費生活パネル展等で啓発。</p>	商業観光課	
	小学校『歯磨き・食育指導』事業	<p>・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話と歯磨き実習を実施。</p> <p>【実施回数】98回 【場所】市内小学校13校 【参加者】2,807人</p> <p>・臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で必要とする児童に対し、歯磨き指導を実施。</p> <p>【実施回数】3回 【場所】市内各小学校 【参加者】220人 ◆◆指標と実績◆◆ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 13校</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>よく噛んで食べることを心がけている小学5年生の割合について、学校教育課の調査結果では30年度は92.6%、令和元年度は91.9%であり、おおよそ現状維持ができた。 また、給食後の歯磨きを実施している学校数が平成30年度は12校であったが、令和元年度は各校の養護教諭と連携し、13校となるよう歯科保健事業に取り組めた。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のため、学校が臨時休業となり、歯科衛生士の指導時間の確保が困難となったため、令和2年度は実施しない。 各校が感染症予防対策を講じたうえで、給食後の歯磨きは継続する。</p>	<p>各校が感染症予防対策を講じたうえで、給食後の歯磨きを実施する。</p>	学校教育課	
	生涯学習推進計画事業実施状況調査	<p>第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成30年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、令和元年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。</p> <p>事業の廃止や見直しがある場合には、その理由や代替事業の有無についても確認した。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 事業の進捗率</p>	<p>A. 成果・効果があった</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>		生涯学習課	
生涯学習推進委員会の運営	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図った。 【日程】3月23日【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1) 我孫子市成人式の対象年齢について (2) 我孫子市生涯学習推進本部設置要綱の廃止について</p> <p>●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、各課で行われている生涯学習関連事業の課題やその対策について庁内連携で対応できないかなどを中心に会議を実施した。 【日程】5月28日【場所】我孫子市役所分館小会議室 【出席者】企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、都市計画課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館 【内容】 (1) 平成30年度我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況報告について (2) 令和元年度生涯学習審議会のスケジュールについて (3) 審議会において協議を要望する事業について ◆◆指標と実績◆◆ 【推進本部会議開催数】 1回 【幹事会開催数】 1回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行っていく中で、各課が抱える問題に対して情報共有を図ることができた。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>生涯学習推進本部設置要綱制定から20年以上が経過し、生涯学習に係る取組も全庁的に浸透してきたこと、また、事業の効率化・見直しを図る観点から、組織の簡素化の一環として同要綱を廃止する。</p>	<p>推進本部を廃止し、推進委員会に組織替える。</p>	生涯学習課		



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
36	健康スポーツ普及事業  市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>●ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】令和2年3月4日(日) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行う。</p> <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 【開催日】 《チャレンジスポーツフェスタ》 【開催日】10月5日 《新春マラソン大会》 【開催日】1月26日 《大人のスポーツテスト》 【開催日】11月16日</p> <p>●スポーツ指導者養成講座 【場所】教育委員会大会議室 【日時】令和元年12月1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日)の4日間 【対象者】日本オリンピックスポーツ協会公認資格である「スポーツリーダー」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民</p> <p>★H30年度No.94・141を統合 ◇◆指標と実績◆◇ 《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】486人</p> <p>●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】2,924人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】346人 《新春マラソン大会》【参加者】1,570人 《大人のスポーツテスト》【参加者】52人</p> <p>●スポーツ指導者養成講座【受講者】6人</p>	A. 成果・効果があった  様々なスポーツイベントを行うことで、市民の健康保持・増進に寄与することができた。	A. 現状どおり推進	市民体育大会(一部種目)、チャレンジスポーツフェスタ、新春マラソン大会、ファミリースポーツテスト(旧大人のスポーツテスト)については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	文化・スポーツ課
	37	読書普及活動  依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことにより、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行った。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフが派遣した。</p> <p>・出前講座 「子どもと読書」(随時)「大人が楽しむおはなし会」(随時)「図書館の上手な使い方・楽しみ方」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時)</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの参加者数(年間)】 1,202人(前年度 1,283人)</p>	A. 成果・効果があった  市民が集う施設へ赴き、読み聞かせ等を行うことにより、多くの市民の読書への関心が高まった。特に、「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は、子どもの読書活動を推進するうえで、必要不可欠な事業であり、読書普及において効果があつた。	A. 現状どおり推進  市民の読書への関心を高め、図書館利用を促進するために必要不可欠な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
38	図書館PR 図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。「我孫子市の図書館」「たんた新聞」「秋のたより」等の刊行物を発行した。 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページの年間アクセス数】 1,374,370件(前年度 1,444,117件)	A. 成果・効果があった 図書館資料の予約受付総数のうち、73%がホームページからのオンライン予約であり、インターネットサービスに対する利用者のニーズの高さが確認された。 ホームページの作成、「たんた新聞」等刊行物の企画・編集・印刷等には、作業時間の確保が必要である。	A. 現状どおり推進 図書館の情報提供及びPRにおいて、ホームページは有効な手段なので、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら、今後も引き続き推進していく。		図書館	
	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動 鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家を呼んで講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察や体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察、体験を中心に実施する。	●講演・講座 《鳥博セミナー》 【日程】5月5日(日)【参加者】28人 《鳥学講座》 【日程】11月2日(土)【参加者】172人 《ゲストトーク》 【日程】11月3日(日)【参加者】30人 ●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 《鳥のゴムバンドをつくろう》【日程】5月12日(日)【参加者】161人 《鳥風教室1》【日程】5月5日(日)【参加者】28人 《鳥風教室2》【日程】1月5日(日)【参加者】33人 《夏の遊びと研究大集合!》(8月1日から9月1日までの毎週土・日曜日と祝日) 【日程】 8月3日(土)「恐竜時代の化石発掘たいけん」【参加者】68人 8月5日(日)「ダチョウの全身骨格を組みたてよう」【参加者】52人 8月10日(土)「プープー」カモ笛【参加者】30人 8月11日(日)「メダカでアクアリウム」【参加者】68人 8月12日(月)「ゴーストミズク」【参加者】42人 8月17日(土)「最強の動物!クマムシを探せ」【参加者】46人 8月18日(日)「プープーカモ笛」【参加者】44人 8月24日(土)「ふくろうホバークラフト」【参加者】32人 8月25日(日)「ゴーストミズク」【参加者】30人 8月31日(土)「ダチョウの全身骨格を組みたてよう」【参加者】30人 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者数】 《講演・講座》 230人 《フロアスタッフイベント》 704人	A. 成果・効果があった 各講座では、鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、市外からの来館者も多く訪れた。また、イベントでは特に小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り事業を実施することができないため、イベント日程を縮小または中止としている。	鳥の博物館	
39							

基本目標 1 ③ 半びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり			基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		
①地域への関心を高める学びの機会の推進		①地域への関心を高める学びの機会の推進			①地域への関心を高める学びの機会の推進		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	40 まちづくり探検隊	平成28年度をもって事業廃止。  子どもたちがまちづくりについて意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。					子ども支援課
	41 子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	【登録料】 1000円/年間 【活動内容】 フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】 あびっ子クラブ設置小学校区に在住する1年生から6年生まで全ての子ども ※私立等に通学している児童は、長期休業日のみ 【活動日】 月～金曜日：下校時から午後5時まで 土曜日：午前10時から午後5時まで(布佐南小あびっ子クラブのみ土曜日閉室) 学校の振替休業日：午前10時から午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時から午後5時まで(ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始・お盆は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等 【登録状況】 ●一小あびっ子クラブ：357人(登録率：66.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、パターゴルフ等 実施回数(年間)：147回 延べ参加人数：2,171人 ●四小あびっ子クラブ：541人(登録率：61.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：207回 延べ参加人数：2,799人 ●根戸小あびっ子クラブ：543人(登録率：60.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：将棋、お筆等 実施回数(年間)：264回 延べ参加人数：2,371人 ●並木小あびっ子クラブ：252人(登録率：70.8%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：スタディ、囲碁等 実施回数(年間)：118回 延べ参加人数：1,645人 ●二小あびっ子クラブ：203人(登録率：48.6%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：99回 延べ参加人数：1,303人  ◇◆指標と実績◆◇ 【チャレンジタイム総実施回数】1,726回(全13クラブ合計)	A. 成果・効果があった  市内全小学校区にあびっ子クラブが設置され、放課後により多くの子どもたちが安全・安心に過ごすことができ、また地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。  スタッフの年齢層の高齢化が進むことにより、長期的に考えると新しいスタッフの確保が必要となる。 また、安全面や加配児童等に対する見守りの向上が必要になってくることから現スタッフに対するマネジメントをしっかりと行っていく必要がある。新スタッフ確保の際には、心身ともに健全である方、能力向上の意欲を持つ方を確保する必要がある。	A. 現状どおり推進  地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加してもらえるようPRをしていく。また、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしていく。 目標値であった市内13校へのあびっ子クラブの設置が完了し、令和2年度から我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画が更新されることもあり、運営方法を改めて見直していく。	サポーター活動の制限を行っているが、前年度からの大きな変更は特になし。	子ども支援課	
	42 谷津ミュージアムづくり推進事業	●谷津の自然観察会 【日程】 7月15日(祝) 参加人数：53人 7月28日(日) 参加人数：42人 2月12日(土) 参加人数：9人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)  ●谷津の自然観察会(近隣小学校2校) 季節ごとに自然観察会を実施 計8回 参加者 計597名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ◇◆指標と実績◆◇ 【谷津ミュージアム内の維持管理作業等参加者延べ人数】 2,542名	A. 成果・効果があった  各種自然観察会や維持管理作業を通して、手賀沼課が事務局を務める谷津ミュージアムの維持管理を行うボランティア団体、谷津ミュージアムの会の会員拡大に繋がった。また、谷津ミュージアムの知名度や魅力発信にも繋がった。  イベントの応募数が減少傾向にあることや講師の確保やボランティアの高齢化が課題。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルスの影響で多くのイベントを中止しているため、テレビやラジオによる谷津ミュージアムの啓発を実施している。また、次年度以降、各種イベントを安全に実施するため、谷津ミュージアム内の維持管理や経年劣化による破損箇所等の修繕作業を実施する予定。	手賀沼課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 2 ①地域への関心を高める学びの機会の推進 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	43 手賀沼船上学習の実施 遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話をする船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。 ●手賀沼船上学習 【参加者】 502人 ◆◆指標と実績◆◆ 【市内小学校実施数】 3校(13校中) 【その他団体】 14団体	A. 成果・効果があった 市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができたため、非常に人気である。 船上学習を実施する市内小学校が減少傾向にある。	B. 改善・見直しを行う 市内小学校に対し、水の館プラネタリウムや鳥の博物館と合わせたモデルプランを提示するなど、実施しやすい体制をつくる。	【コロナ対策】 「我孫子市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドライン」に基づき、感染予防対策を徹底し実施。乗船の際はマスク着用をお願いし、乗船後にイスなどアルコール消毒をした。	手賀沼課	
	44 手賀沼流域フォーラムの開催 市民団体が中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。 ●全体会の開催 子ども向けワークショップ「顕微鏡を作って、手賀沼のプランクトンを見よう」を実施し、顕微鏡をペットボトルで作り、手賀沼のプランクトンを採取し観察した。 【日時】 10月26日(土) 【場所】 アビスタホール ◆◆指標と実績◆◆ 【総参加者数】 72人	A. 成果・効果があった 各市の企画数について、柏7企画、流山1企画、松戸2企画、鎌ヶ谷2企画、白井3企画、印西2企画、我孫子13企画と、我孫子市がもっとも多かった。 また、近年手賀沼内で大繁殖し問題になっている特定外来植物駆除のボランティア講座を開催したほか、ボランティアの登録体制を整えるなど、防除体制の構築に努めた。	A. 現状どおり推進	【コロナウイルス対策】 「我孫子市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドライン」に基づき、感染予防対策を徹底し実施。開始前の体温チェック・マスク着用・密集にならないように配慮した。	手賀沼課	
	45 ジャパンバードフェスティバルの開催 自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。	人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。 【開催日】 11月2日(土)、3日(日) 【開催場所】 アビスタ、水の館、手賀沼親水広場等7会場 【事業内容】 ジャパンバードフェスティバル(JBF)は、国内最大級の鳥の祭典。 日本のみならず、海外団体も招へい(台湾、モンゴル2団体、フィリピン、タイ、グアテマラ、ミャンマー、コスタリカ)し、団体の活動や研究の展示発表、グッズ販売、講演会などが行われた。 ◆◆指標と実績◆◆ 【参加者】 約40,000人(開催2日間延べ人数) 出展数:189	A. 成果・効果があった 前年同様40,000人が来場し、非常に盛り上がった。	B. 改善・見直しを行う 会場設営に係る費用が入件費の高騰により年々増額されてきているため、予算の構成について検討する必要がある。	・2020年はJBF第20回、我孫子市制施行50周年となるため、記念事業を企画。 また、会場設営費が高騰していることから負担金を増額とした。 ・新型コロナウイルスの収束が見られないことから、会場を設営しての開催はせず、オンライン開催となった。	鳥の博物館・光手賀沼課・商	
46 地区計画制度の活用の支援 市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。 ●パンフレット 【配布場所】 市役所都市計画課 【配布部数】 部 (集計不可のため部数未記入です。申し訳ありません。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて窓口対応時に配布しています。) ◆◆指標と実績◆◆ 【ホームページ閲覧数】 計2143件 (地区計画～市民主体のまちづくり～:1116件、我孫子市の都市計画…地区計画等:231件、市街化調整区域における地区計画運用基準:796件) 【地区計画の区域内における行為の届出件数】33件	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進		都市計画課		

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	①地域への関心を高める学びの推進	47	<p><b>我孫子産農産物の学校給食導入事業</b></p> <p>児童生徒に、米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝え、地元農産物への興味・関心を高めるため、我孫子産の米や野菜を学校給食に導入し、地産地消の観点から食育を推進する。</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は87.3%であった。 我孫子産野菜を月平均2.5回使用し、品数は3.7品目、使用割合は4.3%であった。</p> <p>●米飯給食 米飯給食回数4.1回/週実施した。</p> <p>●和食の実施 平均56.8%の実施率であった。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【6月に実施した児童生徒の食に関する実態調査結果】</p> <p>●我孫子産米の認知度            &lt;&lt;小学校&gt;&gt; 82.4%            &lt;&lt;中学校&gt;&gt; 96.9%</p> <p>●我孫子産野菜の認知度            &lt;&lt;小学校&gt;&gt; 83.9%            &lt;&lt;中学校&gt;&gt; 97.3%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は若干低下したが、おおよそ現状維持はできた。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に体験を通して食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・野菜の認知度を維持するとともに、児童生徒の食に関する選択力・自己管理能力を高めた。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していること具体的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。</p>	<p>例年6月に行っている「食に関する実態調査」は、令和2年9月に実施する。</p>	学校教育課
		48	<p><b>市民カレッジ 我孫子を知るコース</b></p> <p>我孫子の歴史や我孫子と関わった文人たちの足跡を講義と史跡めぐりを交えて学び、郷土愛と市民意識の向上を図り、家族や地域へ伝承する機会とする。また、仲間づくりや生涯学習のきっかけづくり、我孫子市政や市民活動の現状などをテーマに取り入れ、市民活動の動機付けとする。</p> <p>平成30年度より「長寿大学」「熟年備学」に統合。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p>				生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
49	市史調査研究	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成を行い、活用に備える。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。 ◇◆指標と実績◆◇ 市史関係図書刊行数	A. 成果・効果があった 井上家資料の読解を通じ、手賀沼干拓や井上家の活動についてのみならず、杉村楚人冠や嘉納治五郎のかかわりを示唆する資料を発見できた。	A. 現状どおり推進	引き続き調査に努める。	文化・スポーツ課	
	郷土芸能への支援	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民族芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施する予定。 【日程】令和元年12月1日(土) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】あびこふるさと会、古戸はやし連中、ひよっとこ睦、我孫子第4小学校伝統芸能クラブ、湖北小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校伝統芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 247人	A. 成果・効果があった 祭礼以外の場で鑑賞できる郷土芸能祭は、高齢者施設に入所している方々にも来場していただきやすく、小中学校の児童生徒の参加により、より賑わいのあるものとなった。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、無観客での実施。 郷土芸能祭の映像をアビシルベ及び市HPほかで公開する。	文化・スポーツ課	
	文化財の指定調査と保存支援	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 17 件	A. 成果・効果があった 中里薬師堂十二神将像の3体の保存修復を終え、12体全ての修復が完了した。文化財保存基金募金について、イベント等において主旨の宣伝を行い、協力を積極的にもとめた。	A. 現状どおり推進 文化財保存基金について、今後とも積極的に募金徴取を行う。	今年度は平成31年度に指定された待道講版木及び付属資料の収蔵庫の購入を行う。	文化・スポーツ課	
	埋蔵文化財発掘調査	【市内遺跡発掘調査】7件 【不特定遺跡発掘調査】2件 【公共事業発掘調査】11件 【民間開発発掘調査】11件 ◇◆指標と実績◆◇ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進 住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。		文化・スポーツ課	
53	考古遺物整理	・「下ヶ戸貝塚」の7分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は31年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【一年間の報告書刊行冊数】2冊	A. 成果・効果があった 報告書の刊行を通じ、下ヶ戸貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	A. 現状どおり推進 毎年、報告書を計画的に刊行する。		文化・スポーツ課	

基本目標 2 ①地域への関心を高める学びの推進

	NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	54	あびこ自然観察隊  環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施。 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 ＜第1回＞5月6日「シギ・チドリ観察会」【参加者】21人 ＜第2回＞7月27日「手賀沼の魚をみよう」雨天中止 ＜第3回＞12月7日「夜の動物観察会」【参加者】14人 ＜第4回＞2月16日「観察しよう！手賀沼の冬鳥」雨天中止 ＜第5回＞3月15日「春の谷津田観察会」新型コロナウイルス感染症対策の為中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】2回 【平均参加者数/回】 指標：15人 実績：17人	A. 成果・効果があった  市内を代表する自然環境を、適切な季節に市民に紹介することができた。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り事業を実施することができない。	鳥の博物館
	55	てがたん（手賀沼の自然観察会）  環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。  【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで ＜第1回＞4月13日「鳥のプロポーズ」【参加者】46人 ＜第2回＞5月11日「あびこの自然の『音風景』」【参加者】33人 ＜第3回＞6月8日「歌で楽しむ自然観察」【参加者】22人 ＜第4回＞7月13日「てがたんしりとり」【参加者】34人 ＜第5回＞8月10日「外来種ってどんな生き物？」【参加者】34人 ＜第6回＞9月14日「虫を狙う生きものたち」【参加者】20人 ＜第7回＞10月12日「樹木と鳥『持ちつもたれつ』」【参加者】29人 ＜第8回＞11月9日「モズのはやにえを探そう」【参加者】25人 ＜第9回＞12月14日「冬でも虫観察」【参加者】34人 ＜第10回＞1月11日「手賀沼のタカとハヤブサの仲間」【参加者】23人 ＜第11回＞2月8日「暮らしの役に立つ草」【参加者】25人 ＜第12回＞3月14日「鳥帰る」※新型コロナウイルス感染症対策の為中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】11回 【平均参加者数/回】 指標：22人 実績：29人	A. 成果・効果があった  身近な鳥や自然について、定期的に、季節に応じた体験を通じて紹介することができた。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り事業を実施することができない	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供							
56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期:受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】幼稚園から大学生 【体験者数】幼稚園7名、小学生131名、中学生11名、高校生45名、大学生11名 ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回発行・・・(4月、10月) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など ◇◆指標と実績◆◇ 【体験受入れ団体数】35団体 【体験者総数】205名	A. 成果・効果があった 夏休みを活用した体験事業も行き、延べ205名の体験者があった。 子どもや若者が市民公益活動に参画する機会の提供ができた。	A. 現状どおり推進	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供 情報発信の手法の変更(情報誌の作成を止め、ホームページへの掲載に変更) 名称の変更(「Abiボラ」に変更)	市民活動支援課	
57	後期離乳食教室 乳幼児後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年16回(新型コロナウイルス感染症の影響により、2回中止) 【対象】市内在住の8~9か月の児を持つ保護者。 なお、本教室の試食には「あびこん」で購入する我孫子市産農作物を使用する。 【令和元年度参加者数】243組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】100.0%	A. 成果・効果があった 離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、試食を中止し、試食は実物で固さや大きさの確認のみとした。個別の歯みがき指導は、内容を一部変更し、上唇小帯の押さえ方の指導のみにした。また、教室にかかる時間を短縮した。	健康づくり支援課	
58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜1コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催コース】11コース(※新型コロナウイルス感染症の影響により1コース中止) 【開催回数】32回(※台風の影響により1回中止。新型コロナウイルス感染症の影響により1コース、3回中止) 【参加者】妊婦99人(実)、227人(延) 夫、家族94人(実)186人(延) ◇◆指標と実績◆◇ 【学級後のアンケート結果】 «「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合»98.9%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が98.9%となっている。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、定員10組に限定し、入館時に体調の確認と検温及び手指消毒、参加者が密にならないように十分な間隔をあげ、実施。 事業内容としては、グループワーク・歯磨き指導(染めだしと実習)・妊婦体験モデル実習先輩ママ・パパ・赤ちゃんとのふれあい交流会を中止し、歯磨き指導に関しては染め出し材を配布し自宅でも実施できるように変更をした。	健康づくり支援課	
59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通して、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年11回(新型コロナウイルス感染症の影響により、1回中止) 【対象】市内在住の4~6か月の児を持つ保護者。 【令和元年度参加者数】197組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】100.0%	A. 成果・効果があった 離乳食の進め方や離乳食を食べる様子を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわき、不安の軽減につながった。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、試食を中止し、調理のデモンストレーションのみ実施。また、内容を一部省略し、教室にかかる時間を短縮した。	健康づくり支援課	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点				
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無					
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	60 手賀の丘フレンドシップツアー 手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性を育む機会を提供する。	『手賀の丘ふれあい宿泊通学』の課題を解消するために、教育委員会指導課と協議し、新たに『手賀の丘フレンドシップツアー』として平成30年度にリニューアルした内容で令和元年度も実施した。 学校との行事がかぶらないよう、教育委員会と打合せしながら実施時期を決定。年に2回、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて1泊2日、手賀の丘少年自然の家に宿泊する。 自分たちのことは自分たちで行うことで、自立性・協調性を育むことを目的とし、川村学園女子大学と協定書を締結し学生に班担当スタッフとして協力してもらっている。  【日程】 ≪第1回≫7月5日(金)から7月6日(土)1泊2日 ≪第2回≫9月27日(金)から9月28日(土)1泊2日 【場所】千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】市内13小学校5～6年生 【募集人数】各回36人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 第1回 28名 第2回 20名 【全参加者数】48人 ・参加者アンケートを実施	A. 成果・効果があった 野外炊飯体験や他校の子どもたちと過ごすことでの協力、協調性を育むことが出来た。 川村学園女子大学との協定を結び学生4名に班担当スタッフとして協力してもらい連携を図れた。 市内小学校の行事との兼ね合いによる開催時期の調整。習い事をしている児童が多く、習い事と重なることにより参加がしなくてもできない状況もある。	A. 現状どおり推進	予定していた実施内容は令和元年度と同様だったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、年度当初に事業中止を決定した。	子ども支援課			
			61 あびこ子どもまつり 子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験しアビーという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	●第25回あびこ子どもまつり 【日程】10月20日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園 【内容】あびこ子どもまつり実行委員会と我孫子市との共催事業としてアビスタ・手賀沼公園にて、子どもたちが主体となるおまつり。また、子どもたちは様々なお仕事を楽しみながら体験し、アビーというおまつり内で使用できる通貨をもらい、おまつり内で活用し楽しむ。  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】708人(有料入場者数)	A. 成果・効果があった 25回目を迎え、企画・実行委員会メンバーもスムーズに運営ができるようになってきている。 市内だけでなく、近隣市から遊びに来てくれる家族連れなども増え、周知されてきている。  天候によって来場者数が大きく左右される。また、年々参加団体が増えていることは喜ばしいが、雨の場合、屋内に入りきらない団体が出てきてしまう。 企画会・実行委員会の新たなメンバーの掘り起こしも課題となる。		A. 現状どおり推進	予定していた実施内容は令和元年度と同様だったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年通りの形での開催は行わないこととした。代わりに「あびこ子どもまつり」のホームページ上にて家庭で楽しめる遊びなどを紹介する「2020 ネットであびこ子どもまつり」を実施(期間:令和2年10月3日～18日)。	子ども支援課
			62 げんきフェスタ 市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	●第24回げんきフェスタ 【日程】6月23日(日) 【場所】コホミン、湖北小学校体育館 【内容】子どもに関係する団体や地域の自治会や商店などが実行委員会を構成し、市と共同開催で実施する。昔遊び、スーパーボールすくい、人形劇、おぼけやしき、スタンプリナーなど子どもたちが主役となって1日を楽しむイベントを行う。  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】489人(有料入場者数)	A. 成果・効果があった 毎年、市域東側の子どもたちを対象に開催し、多くの家族連れや子どもたちでにぎわっている。 24回目を迎え、おまつり自体も周知されてきている。  天候によって来場者数が大きく左右される。また、年々参加団体が増えていることは喜ばしいが、雨の場合、屋内に入りきらない団体が出てきてしまう。 企画会・実行委員会の新たなメンバーの掘り起こしも課題となる。		A. 現状どおり推進	予定していた実施内容は令和元年度と同様だったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い開催を中止した。	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点				
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無					
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	63	<b>enjoy</b> ババ応援プロジェクト 子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。	【対象】 就学前の子どもと父親 ●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月2日(日) 我孫子市民体育館「フットサル講座:はじめてのフットサル〜パパと楽しもう!〜」43組 総計88名 ・7月27日(土) 親子ヨガ 22組 総計44名 ・9月 7日(土) ママへのごほうびフェスタにて「工作教室」32組 総計68名 同イベント内「東大科学マジックショー」38組 総計132名 ・10月27日(日) NECラグビー場「はじめてのラグビー体験」84組 総計172名 ・令和2年2月8日(土)「かけっこ教室」52組 総計108名 ●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 <<にこにこ広場「パパとあそぼう」>>年間計20回 <<すくすく広場「家族と遊ぼう」>>年間計21回 <<わくわく広場「わくわくパパタイム」>>年間計7回 <<すこやか広場「みんなで遊ぼう!」>>年間計2回 ◇◆指標と実績◆◆ 【父親のイベント等への延べ参加者数】 931名	A. 成果・効果があった	C. 廃止・休止	子育て支援拠点事業の一環として実施する事業であるため、令和2年度からは子育て支援拠点事業に統合して実施していく。	保育課		
			子育て支援施設における講習 子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進			父親向けの講座を実施予定だが、新型コロナウイルス感染拡大により、実施内容及び時期は未定。	保育課
			子ども議会 次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にする。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進			実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来年度に延期。	指導課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの場をあるまじく	66 長寿大学	<p>高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくり等に積極的に参加できるようにする。</p>	<p>【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、平成31年4月から令和2年3月まで年間23回の学習プログラムで実施した。 ・運営委員会、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動した。 【参加者】 《1年生》50人(R2年2月14日現在) 《2年生》50人 《3年生》41人 《4年生》41人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 182 人</p>	<p>A. 成果・効果があった 学級生自らがボランティア活動を実施する機会が増えた。</p>	<p>A. 現状どおり推進 さらなる機会の拡大に向けて情報提供を拡充する。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で、開校が8月下旬になった。学習計画では、年間13回の学習を予定。ねんりんピック、大学祭、校外学習は、今年度は行わない。</p>	生涯学習課
	67 成人式	<p>大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。</p>	<p>【日程】1月12日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】 平成11年(1999)4月2日から平成12年(2000)4月1日に出生した市内在住者：令和元年11月26日現在1,364人 《午前の部》我孫子・湖北・湖北台中学校区及び我孫子特別支援学校卒業の方 《午後の部》白山・久寺家・布佐中学校区 【式典企画】 ・オープニング：中央学院高等学校チアリーディング部ポップスターズによる演技 ・恩師からのビデオメッセージと卒業アルバムからの思い出の写真の上映 【記念品】 万年筆 《企画運営会議について》 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全6回の企画運営会議を実施。 《第1回》6月16日 成人式の内容、企画運営会議の役割及び成人式の対象年齢について意見交換 《第2回》7月21日 式典企画、記念品及び招待する来賓の人数について 《第3回》8月17日 式典企画及び記念品について 《第4回》9月16日 式典企画及び記念品について 《第5回》10月20日 役割分担及び式典台本について 《第6回》11月17日 式典台本、式典企画、タイムカプセル及び恩師メッセージ装飾について ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 1,018人 (出席率 75.02%) 《午前の部》 558人 (出席率 82.67%) 《午後の部》 460人 (出席率 67.45%)</p>	<p>A. 成果・効果があった 新成人自らが成人式を作りあげること で、代表者・参加者ともに心に残る成人式となった。 今年は、新たな試みとして、オープニングアタックに式典企画としてチアリーディングを組み込んだ。 該当事者及び出席者の増加に伴いホールが手狭になることが予想される。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、2部制から4部制にして一回あたりの参加人数を減らし、式典の時間を1時間から30分に短縮することで、密となるリスクをできるだけ軽減する。 記念品を案内状とともに事前に郵送することで、会場での主催者側と参加者側の接触をできるだけ少なくする。</p>	生涯学習課
	68 熟年備学	<p>熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。</p>	<p>【日程】5月から11月 11回 【場所】我孫子地区公民館、松戸西部防災センター、戸定が丘歴史公園 【内容】人生達人のすすめ、身体イキイキ健康体操、実践！介護のコツと介護保険制度、備えあれば患いなし！、充実した暮らしをつくる、笑って長生き、すべての健康の基、施設見学、シニアのための経済、幸せノートづくり、学習を振り返って 【定員】45人 【参加者数】54人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケート結果】(学習終了時実施) 《とても良かった》 52% 《まあまあよかった》 35% 《ふつう》 2% 《あまりよくなかった》 0% 《とてもよくなかった》 0%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>回数をもっと欲しかった。もの足りない。という意見。少数ではあったがいた。今年度は従来の14回から、3回回数を減らし11回にした。5月から始まり11月には閉級した。例年ならば5月閉級して1月閉級していたものだ。内容の充実、学級生同士の交流などを考えると、やはり、もう少し回数はあった方がよかったようだ。</p>	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	69 家庭教育学級	<p>●家庭教育学級 【日程】5月から2月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・手賀沼船上学習)、公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者60人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 47人) ≪大変満足≫ 36人 ≪大体満足≫ 10人 ≪普通≫ 1人 ≪「不満が残った」、「期待はずれだった」≫ 0人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>アンケート結果では「抱えている問題、心配事に共通点が多く共感できた。」「顔が見えて来るたびに安心できる。」「仲良くなれてたくさん話げできた。」など参加者の満足度は非常に高く、次年度以降も自主的に活動する継続学級も立ち上がった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>		生涯学習課	
	70 のびのび親子学級	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで 各コース全12回。 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び五本松運動広場 【対象】アビスタコース 平成27年4月2日から平成29年4月1日生まれの子(2, 3歳児)と保護者 コホミンコース 平成27年4月2日から平成29年8月1日生まれの子(1, 2, 3歳児)と保護者 ※コホミンコースについては、締め切り後、定員に達していなかったため、対象を拡大。 【定員】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組 【参加】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組</p> <p>●プチのびのび親子学級 【日程】2月7日・21日・28日 全3回。 【場所】布佐小学校 ふれあいルーム 【対象】2, 3歳児と保護者 【定員】親子10組 【参加】親子11組</p> <p>●Babyのびのび親子学級 【日程】9月13日・27日・10月4日・18日・11月15日・29日 全6回。 【場所】我孫子地区公民館和室、ホール 【対象】2019年4月1日以降に生まれた第1子の赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 【定員】親子20組 【参加】親子23組 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 89人) ≪満足度99.3%≫</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもとの関わり方や、日常の子育てについての考え方を共有できる話し合い、共同作業の実施等により母親同士の交流が図られ、子育てを通して同じ価値観を持つ仲間の輪を広げることができた。学級終了後も、自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。</p> <p>子育て支援施設の充実・幼稚園のプレ保育・習い事などへ通う子どもの増加、共働き家庭の増加により、定員を満たすことが難しくなっている。また、開級後も仕事の為退会する学級生もわずかであるが、ここ数年、毎年みられる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>学習を通して、親同士の学びと交流を重視している。仲間と一緒に考え、子育ての楽しさや苦勞を分かち合い、互いに支え合える仲間づくりができる。横のつながりを作るきっかけの場になるよう運営していく。</p>	<p>2~3歳を受け入れる我孫子市の子育て支援事業が充実しており、のびのび親子学級と並行して参加している受講者が多くいる。また、幼稚園のプレ保育、習い事などへ通う子どもが増えており、当学級を選んでもらうことが難しくなっている。よって、受け皿が少なく、働いている方が育休を取っている期間でもある、0歳児から1歳児を対象とした低年齢のコースへ、段階的に移行していく。令和2年度は、学習回数を12回から9回へ。コホミンコース、プチのびのび親子学級を廃止し、Babyのびのび親子学級を2コースに増やす予定で計画していたが、のびのび親子学級は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止。Babyのびのび親子学級については、10月から全4回で実施。</p>		生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	71 アビコでなんでも学び隊  小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<p>●アビコでなんでも学び隊 【日程】6月から1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生</p> <p>《ROBOLABプログラミング教室 光センサーを使ってプログラミングしよう!》【定員】22人【応募】23人【参加】22人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》【定員】24人【応募】37人【参加】24人 《伝統の美・友禪染 プロに学ぶ日本の技》【定員】15人【応募】18人【参加】18人 《磁石とコイルのパワーを探れ(小1~小3対象)》【定員】24人【応募】81人【参加】24人 《磁石とコイルのパワーを探れ(小4~小6対象)》【定員】24人【応募】47人【参加】24人 《生命の不思議発見!ーメダカのひみつー》【定員】24人【応募】35人【参加】21人 《科学であそぼう!》【定員】24人【応募】167人【参加】24人 《あらふしぎ?カガミを使わない万華鏡!》【定員】24人×2回【応募】69人【参加】47人 《My望遠鏡で月を見よう!》【定員】20人【応募】40人【参加】20人 《卓球チャンピオンになろう!基本からゲームまで》【定員】20人【応募】47人【参加】20人 《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットを作って》【定員】22人【応募】66人【参加】22人 《粉こねてピザをつくろう!(高校生とジョイント)》【定員】15人【応募】92人【参加】15人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション)》【定員】24人【応募】46人【参加】23人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》【定員】18人【応募】45人【参加】18人 《はじめての書初め》【定員】22人【応募】32人【参加】20人 《ダブルダッチに挑戦!》【定員】20人【応募】43人【参加】22人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】(回答者 339人) 【講座に参加した子ども達の満足度】99%</p>	A. 成果・効果があった  多岐分野の講座を、専門的な知識を持つ講師また、地域の高校生、大学生等のボランティアの協力により、日常経験しがたい体験の場、年齢を超えた交流の場、学び合いの場を提供することができた。応募率も243%あり、子ども達の興味関心の高さがうかがえる。	A. 現状どおり推進  専門的な知識を持つ講師の協力により、学ぶ喜び、科学する楽しさ、発見する喜び等、日常経験しがたい体験学習の場となっており、参加者の満足度も高い。地域と子どもをつなぐ役割も果たし、年齢、地域を超えた交流の場を提供していく。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。	生涯学習課	
	72 子どものための舞台鑑賞事業  子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、心豊かな成長を促すとともに、舞台鑑賞のマナーなどを養うために行う	<p>●子どものための舞台観賞 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施する。 【日程】令和2年2月22日(土) 【場所】けやきプラザ ホール 【内容】「給食番長」</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】181人</p>	A. 成果・効果があった  令和元年度に実施した舞台「給食番長」は、子どもたちが「食」について学ぶ絶好の機会となり、今後の学校生活での効果が期待できる。	A. 現状どおり推進	「あらしのよるに」の公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	73 成人・青少年への図書館サービス 中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施  《講演会》 【テーマ】杉村楚人記念館・我孫子市民図書館合同イベント第7回楚人冠講座「楚人冠随筆の魅力」 【日程・講師】7月21日(土)杉村楚人記念館学芸員 【場所】アビスタ第2学習室【参加者】21人(うち杉村楚人記念館ガイドツアー参加7人)  【テーマ】俳句教室 【日程・講師】11月30日(土)原瞳子氏・島崎妙子氏(湖畔吟社所属) 【場所】アビスタ第2学習室【参加者】11人  【テーマ】企画課・我孫子市民図書館共催(2021年成田線開業120周年記念プレイベント) 写真展『成田線の歴史と千葉の鉄道写真展』 【日程・場所】2月4日(火)～2月16日(日)アビスタ全館 水彩画展『野崎信一 成田線水彩百選』 【日程・場所】布佐分館 講演会『千葉の鉄道物語～成田線を中心に～』 【日程・講師】2月8日(土)内田龍哉氏(千葉県中央博物館 主任上席研究員) 【場所】アビスタホール【参加者】95人  【テーマ】市民図書館・農政課共催事業「食農くらぶ「裁食健美」」 【日程・講師】5月31日(金)改良普及員OB、農政課職員 【場所】水の館3階研修室【参加者】34人  《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月23日(水)アビスタ本館 19人 10月24日(木)布佐分館 9人 10月25日(金)湖北台分館 5人  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 239,614人(昨年度比 96.8%)	A. 成果・効果があった 単なる貸出だけでなく、生活に必要なことや趣味に関することを調べたいという要求、知的好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につなげた。  限られた予算の中で新刊図書を購入するため、図書購入については、全館調整をするなど、厳しく選定する必要がある。	A. 現状どおり推進 成人・青少年のサービス対象者(13歳以上)は、図書館年間貸出利用者数の約92%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。	新型コロナウイルス感染症の影響で、「ブックフィルムコーティング講習会」を中止するなど、主催事業の開催を中止している。	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	74 児童への図書館サービス 子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館支援センター機能の確立</li> <li>新刊を含む児童書の選定・内容検討等</li> <li>児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、「本を読んでおろがみまめ本をもらおう」、館内研修などを実施</li> <li>学校図書館支援・整備、調べ学習への支援、学校授業支援</li> <li>学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</li> <li>●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 21回 529人 ②布佐分館 11回 126人</li> <li>●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 21回 135人 ②布佐分館 22回 139人</li> <li>●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 6回 60人 ②久寺家ステーション 6回 29人</li> <li>●子どものための科学実験講座 【日程】8月7日(水)①10時～12時15分 ②14時30分～16時45分 【場所・参加者】①布佐分館 31人 ②アビスタ本館 34人</li> <li>●よむよむラリー 【完了数】 1,521人</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【児童書の年間貸出冊数】 204,093冊(昨年度比 95.8%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。</p> <p>読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等</p> <p>・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、「みんなで育てよう! 図書館の木」、館内研修などを実施</p> <p>・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援</p> <p>・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</p> <p>・学校図書館支援センター機能の確立・推進</p>	<p>●「おうちでよむよむセット」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館中、臨時窓口(予約資料のみの貸出窓口。中学生以下はWEB予約サービス対象外。)において、子どもが本を借りられるよう、「おうちでよむよむセット」を作成して貸出した。</p> <p>●4月から8月まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「おはなし会」「親子で楽しむおはなし会」を中止(8月は特別バージョンで実施)。9月から新型コロナウイルス感染症に対応した形で「親子で楽しむおはなし会」をアビスタ本館で月1回再開。</p>	図書館	
		75 子どもの読書活動推進計画の進行管理 子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、子どもの読書活動推進を確立していく。	<p>「子どもの読書活動推進計画」に関する事業の実施状況調査について各課に依頼した。</p> <p>学校図書館との連携による授業支援</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 学校図書館との連携による授業支援数 73件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市役所各課で、どのような子どもの読書活動推進に関連した活動を実施しているか認識できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要であることから、関係課と連携を図りながら、引き続き我孫子市における子どもの読書活動を推進していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「子どもの本と読み聞かせについて」の講演会は中止。</p>	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
76	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実 男女共同参画講演会の実施	<p>●我孫子市男女共同参画講演会(主催) 【テーマ】出会いも子育ても全てはチャンスに…ポジティブ思考で広がるキャリア 【日程】6月30日(日)午後1時30分～午後3時 【場所】アビスタホール 【講師】山田メグミさん(株式会社アイスタイル取締役、我孫子市出身) 【参加者】79人</p> <p>●我孫子市男女共同参画社会づくり講演会(市民団体「あひこ女性会議」との共催) 【テーマ】変えられるか！私たちの社会～モヤモヤで終わらせないために～ 【場所】アビスタホール 【講師】皆川満寿美さん(中央学院大学准教授、我孫子市市男女共同参画審議会会長) 【参加者】33人 ◇◆指標と実績◆◇ 【事前申込者のWebからの申込率】 ●6/30講演会(主催)64.4%、●12/7講演会(共催)17.9%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>6月の講演会は関心層の裾野を広げることとを目的として集客に努めた。アンケート回答によると30～40歳代が4割以上となり過去5年間で最高となった。Webからの申込率6割超で過去最高で、申込時間帯が夜間・休日が多いことから、日中多忙な働く世代にアピールできた。12月は関心のある層がより深く学べる場として開催した。講師を知る市外市民団体会員や都内自治体職員の参加もあり市の啓発活動についてPRできた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>講演会は継続実施する。ただし年2回、主催と共催という従来の形にこだわらずに企画を考える。今まで参加が少ない層(働く世代や学生など)への周知を図るため、今年度からWeb申込率を参考指標とし、広報活動もポスター、チラシ等の紙媒体のみではなくFacebook等のSNSを活用を拡大していく。</p>	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から例年6月に実施する主催講演会を中止した。年度末にかけて、オンライン講演会形式での開催を検討中。	秘書広報課	
	77	平和事業	<p>●平和事業推進市民会議 【開催回数】5回開催 【委員数】15名 ●戦後75年・我孫子市平和都市宣言35年記念平和事業運営委員会 戦後節目の年の平和事業を検討するため、通常の市民会議の定数を拡大し、歴代派遣中学生を委員に加えて会議を開催した。 【開催回数】1回 【委員数】34名 ●中学生派遣 【派遣先】長崎 【派遣期間】8月8日(木)から8月10日(土)まで 【派遣人数】12名(中学校6校から、男女各1名ずつ) ●平和祈念式典組み合わせ事業 【日程】8月18日(土) 【会場】手賀沼公園 【内容】手賀沼とろうろ流し 【参加者】約70人 ●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【日程】12月1日(日) 【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】長崎への派遣中学生による派遣報告、モノオペラ「焼き場に立つ少年」、我孫子中学校演劇部による演劇「消えた八月」の公演 【出演者】派遣中学生12名(6校各2名)、モノオペラ2名、我孫子中学校演劇部18名 ●リレー講座 【開催時期】令和元年6月～令和2年2月 【内容】歴代の広島・長崎派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に派遣体験を伝え、平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために自分たちができること」を考え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。 【受講者】小学校全13校の6年生(36クラス、1,119名) ◇◆指標と実績◆◇ 【派遣中学生報告会(平和の集い)への来場者数】302人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲愴さや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。 ●平和祈念式典組み合わせ事業として「手賀沼とろうろ流し」を初めて実施し、若い世代を始め多くの市民が平和について関心を寄せるきっかけとすることができた。</p> <p>リレー講座の講師を担う高校生や大学生の参加を増やす必要がある。派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいとえられるため、いかに活動に参加しやすくするのが、工夫が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、平和事業推進市民会議や原爆被爆者の会、その他の団体等と連携しながら、事業を進める。</p>		●戦後75年の節目であるため、これまでの市や原爆被爆者の会の取組みを振り返り、次の世代に継承していくために平和事業を実施する(戦後60年、65年、70年に発行した記念誌の活用検討、平和の小冊子の改訂、リレー講座の継続に向けた検討など)。 ●新型コロナウイルスの影響：我孫子市平和祈念式典の規模縮小。中学生の広島派遣の日程、内容を変更。リレー講座の実施校、実施方法を変更。

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
78	健康づくりに関する専門家によるセミナー	<p>●骨粗しょう症セミナー 【演題】ロコモティブシンドロームと骨粗しょう症 【日程】令和2年3月2日(月) 13時30分～15時30分 【場所】アビスタ1階ホール 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民(先着80人) 【内容】 順天堂大学COIプロジェクト室順天堂大学スポーツ健康医科学研究所特任助教・博士(スポーツ健康科学)の粟寿喜先生を講師に、骨粗しょう症とロコモティブシンドロームの関係や、予防方法などの講演を実施。 我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講話。 ※新型コロナウイルス感染症の流行により中止。 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】-人</p>	<p>C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症の流行により中止のため。</p>	A. 現状どおり推進	<p>○「骨粗しょう症セミナー」は、感染症対策のため、参加人数や講演時間を見直し、実施予定。 ○11月9日(月)「子どものロコモを予防するために」講演会を推進員研修会として実施予定。そちらに市民も参加予定。 【演題】子どものロコモを予防するために 【日程】令和2年11月9日(月) 10時30分～11時45分 【場所】アビスタ1階ホール 【対象】事前に申し込みをされた未就学児～小学生のお子さんをもつ我孫子市民の方(先着30人) 【内容】 順天堂大学保健医療学部 理学療法学科の松田雅弘先任教授を講師に、子どもが元氣よく成長し、ロコモを予防して健康になるための取り組みの重要性についてや、家で閉じこもりがちな現状で、できる運動などの講演を実施。 我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講話。</p>	健康づくり支援課	
	メンタルヘルス啓発講座	<p>近年、ひきこもりの状態になっている方の家族からの相談が増えている。ひきこもり状態の解説を症例を交えて行い、ひきこもり当事者・家族の方の支援、発達障害との関連性の理解を深めることを目的とした講演を実施。 【日程】令和元年12月22日(日) 【場所】あびこ南近隣センター9階ホール 【テーマ】ひきこもりと発達障害の支援入門 ◇◆指標と実績◆◇ 【講演会参加者】70名</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加者アンケートでは「ひきこもりや発達障害について理解を深められた」との評価が多く、満足度が高かった。</p>	A. 現状どおり推進	<p>今年度はコロナウイルスによる感染拡大防止の観点から講演会は開催せず、障害福祉のパンフレットを作成、配布することで市民の障害への理解を深める。</p>	障害福祉支援課	
	失語症家族教室	<p>失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料 ◇◆指標と実績◆◇ 【失語症家族教室への延べ参加者数】26人</p>	<p>A. 成果・効果があった 失語のある人のご家族の家庭での会話の悩みを軽減するとともに、失語に関する知識や会話技術の習得を図ることができた。 広報活動を強化した結果、例年よりも延べ人数が増えた。</p>	A. 現状どおり推進	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程を下半期にずらし、感染予防措置を徹底した上で少人数で開催する。</p>	障害福祉支援課(障害者)	
81	手話講習会・読話講習会	<p>●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、読話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、初心者向けに、読話の基礎を学ぶための「読話講習会」を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置  ◇◆指標と実績◆◇ 読話講習会と手話講習会を交互に実施する計画であるため、令和元年度は手話講習会を実施した。 【講習会参加実人数】16人</p>	<p>A. 成果・効果があった 基礎的な読話の習得および参加者同士の交流を図ることができた。  障害者福祉センターは、交通の便が悪いため、送迎バスを運行した。今後も継続する必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<p>手話講習会を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。</p>	障害福祉支援課(障害者福祉セン)	
	中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。						

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの場をもちつくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
82	<b>家族介護教室</b>  要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。	市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。 <b>【テーマ、日程、場所、人数】</b> <b>《我孫子北地区》</b> ・「オーラルフレイル健康の秘訣はお口にあり」～お口の機能をアップして、おいしく食べよう～」5月23日 市民プラザ会議室1 参加者19名 ・「管理栄養士監修・料理教室ささっとさっぱり栄養満点夏メニュー」7月17日 我孫子南近隣センター8階調理室 参加者15名 ・「認知症の薬について」9月26日 我孫子南近隣センター 参加者5名 ・「いまから始める転倒予防」11月14日 我孫子南近隣センターホール 参加者26名 ・「今すぐ始める物と心の整理術」～遺品整理人からのアドバイス～1月15日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者30名 <b>《天王台地区》</b> ・「ロコモティブシンドロームを防ごう」6月28日 天王台北近隣センターホール 参加者13名 ・「認知症についてともに学びませんか」7月31日 天王台北近隣センターホール 参加者27名 ・「認知症についてともに学びませんか」8月29日 近隣センターこもれびホール 参加者31名 ・「バランスウォーキング教室」9月27日 天王台北近隣センターホール 参加者22名 ・「健康寿命を延ばす生活習慣と食事」10月16日 近隣センターこもれびホール 参加者22名 ・「ロコモティブシンドロームを防ごう」11月19日近隣センターこもれびホール 参加者15名 ・「笑いヨガ 笑門には福来る！」12月13日 天王台北近隣センターホール 参加者17名 <b>《湖北・湖北台地区》</b> ・「終活はじめの一歩～誰でも作れるエンディングノート」5月24日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者64名 ・「転ばないための体操教室」7月23日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者38名 ・「口から考えるアンチエイジング」9月12日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者27名 ・「毎日の健康管理 生活習慣病や感染症予防のはなし」11月14日 湖北地区公民館第一学習室 参加者39名 ・「認知症の予防について～脳を元気にしよう～」1月25日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者50名 <b>《布佐・新木地区》</b> ・「セルフケア健康教室」7月3日 ふさの風近隣センター多目的ホール 参加者49名 <b>《我孫子地区・天王台地区共通》</b> ・「男性介護者のつどい」5月16日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者5名 ・「男性介護者のつどい」7月25日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者5名 ・「男性介護者のつどい」9月19日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者7名 ・「男性介護者のつどい」11月21日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者4名 ・「男性介護者のつどい」11月23日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者5名 ◇◆指標と実績◆◆ ◇市民・事業者との協働(どの部分をどんな市民・団体と協働したか記入ください。)	<b>A. 成果・効果があった</b>  多くの市民に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、健康に生活するための知識習得を進めることができた、また、なんでも相談室の機能を周知することができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	新型コロナウイルス感染防止のため、実施回数は減少する見込み。	高齢者支援課	

⑥多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実  
 2 生涯にわたって学び続けるための学びの場づくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
83	認知症の方の家族のつどい「あびこ」	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業) 【場所】 けやきプラザ7階研修室又は7階実習室 【参加対象者】 認知症の方を介護している家族・介護経験者 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者数】 延84人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 91.7% 《自由記載の一部抜粋》 ・これから先の生活不安を感じてましたが、参加して本当に良い話を聞けました。皆さんのお話を聞き、私ばかりではない。明るく介護してやらなくてはと、思いを新たに帰ります。 ・本音で話が出来ている様で良い集まりだと思う。	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が9割以上であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約定員制・時間短縮にて実施。	高齢者支援課	
	介護予防講演会	《講演会》 【日程】令和元年11月6日(水) 【場所】けやきプラザ9Fホール(我孫子南近隣センター) 【内容】フレイルと食生活 -健康長寿を目指して- (高齢期のフレイル予防) 【対象】市民 【定員】100人 【参加者数】 97人 ◇◆指標と実績◆◇ 【講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』 80% 【アンケートの自由記載での意見の抜粋】 ・参考になった ・分かりやすかった ・日常に使いやすい内容で良かった・食べることの重要性がわかった ・食事について大変参考になった ・フレイルにならないように頑張ります ・今後の生活に役立たせたい	A. 成果・効果があった 講演会参加者のうち、『わかりやすい』との回答が8割以上あり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、講演会は中止とした。		高齢者支援課
	高齢者虐待防止講演会	隔年開催につき令和元年度は実施していません ◇◆指標と実績◆◇ 前回(平成30年度)参加者数: 43人 アンケート回収数: 36人 (うち「わかりやすかった」と回答した人: 30人)	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進			

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	86 遊具うんどう教室  生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【場所・日程・参加者】 《湖北中央公園》毎月第3火曜日(2・8月除く) 6回、延 146人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 10回、延 89人 《布佐南公園》毎月第2水曜日(2・8月除く) 7回、延 42人 ※雨天の場合には中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◇ 【遊具うんどう教室参加者合計数】 延 277人	A. 成果・効果があった  屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を23回開催し、延277人が参加している。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。  木製のうんどう遊具を設置してから15年以上経過し、老朽化や破損等による補修・撤去の必要性が多く出てきている。	A. 現状どおり推進		高齢者支援課	
		87 環境学習の推進  小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、それらと手賀沼との関わりを伝えることで、手賀沼の浄化啓発を図る。	《プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!》 【日程】①8月2日(金) ②8月9日(金) 【場所】水の館 研修室 【対象】各日小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう!》 【日程】8月8日(木)・8月15日(木) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)》 【日程】7月31日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生30人(3年生以下保護者同伴) 《カヌー体験学習in手賀沼》 【日程】8月18日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生50人 《手賀沼水辺探検》 【日程】9月29日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生60人 《バードフィーダー作り》 【日程】12月14日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学4年生以下保護者同伴) 《紙飛行機工作と飛行大会》 【日程】2月16日(日) 【場所】アビスタ ホール 【対象】30人(小学生以下保護者同伴) ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 113人 【その他環境学習学習3事業参加者】 105人	A. 成果・効果があった  各事業とも夏休みのイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。 それ以外のイベントも、親子だけでなく大人一人で参加しても好評であった。  「プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!」は外で船上学習を行ったり、実際に手賀沼でプランクトンを捕まえたけれど、暑さが厳しく熱中症を招く恐れから次年度から見直しが必要。 「カヌー体験in手賀沼」は申込数が少ない時間帯があった。	B. 改善・見直しを行う  参加者をより多くするため、夏休みイベントの内容や広報の仕方を再検討する。 手賀沼親水広場を環境学習拠点として活用すべく、新たなメニューも検討する。		【講座の運営について】 コロナウイルス影響で「あびつ子ネット2020夏特大号」が休刊となったため、夏休みの環境学習の記事は掲載されなかった。 「プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!」は外での学習を取りやめ、室内で半日完結とした。 【コロナウイルス感染症対策関連】 1「我孫子市新型コロナウイルス感染症対策公共施設利用ガイドライン」に基づき、感染予防対策を徹底し実施。 2 ①「3つの密が発生しない席配置」や「人と人の距離の確保」②「マスク着用」、「手指の消毒」③当日の体調の聞き取りなど、感染対策を講じた。また、使用した備品やイス等は使用後に消毒した。 3 8月末現在、コロナウイルス感染状況等を考慮し、「カヌー体験学習」を中止した。

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
88	消費生活講座	<p>●ふれあいサロン 【日程・場所】 ①【日程】4月10日【場所】新木近隣センター【参加者】22名 ②【日程】6月6日【場所】ふらりえ新木野【参加者】28名 ③【日程】12月16日【場所】個人宅【参加者】11名 ④【日程】1月17日【場所】湖北地区公民館【参加者】57名 ⑤【日程】2月26日【場所】湖北台市民センター【参加者】21名</p> <p>●出前講座他 ①【日程】5月13日【場所】我孫子南近隣センター【参加者】30名 ②【日程】7月9日【場所】近隣センターふさの風【参加者】55名 ③【日程】7月19日【場所】湖北地区公民館【参加者】46名 ④【日程】10月25日【場所】アビスタ【参加者】5名 ⑤【日程】2月26日【場所】布佐中学校【参加者】71名</p> <p>●消費生活講座 【テーマ】消費者トラブルの被害にあわないために～悪質商法の最近の手口と対応策について～ 【講師】村千鶴子弁護士 【日時】11月9日 【参加者】37名</p> <p>【テーマ】冬休みから始める'おこづかい帳'～おこづかいの話と貯金箱～ 【講師】千葉県金融広報委員会 【日時】12月26日 【参加者】23名</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【全ての講座の参加人数】305名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>高齢者の消費者トラブルが増加している中、ふれあいサロン等では啓発活動を実施することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>事業としては、現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染の影響により、ふれあいサロン、消費生活講座は未定、出前講座等は2講座の予定。</p>	令和2年度においては、市民後見人養成講座での講師及び長寿大学の講座を実施予定。また、消費者トラブルにあわなないためのPRパネル作成を検討中。	商業観光課	
	89	緑の講習会	<p>●緑の講習会 《庭師入門 庭木の剪定講座(初級編)実技》 【日程】5月10日(金)【場所】気象台記念公園【定員】20人【参加】20人 《キッチンハーブの寄せ植え》 【日程】5月22日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【参加】17人 《樹医に学ぶ庭木の剪定講座》 【日程】6月8日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】30人【参加】59人 《初夏を彩るハンギングバスケット》 【日程】6月25日(火)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】24人 《秋を彩るハンギングバスケット》 【日程】10月15日(火)及び17日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】23人 《庭木の管理 剪定講座(座学)》 【日程】10月26日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】40人【参加】60人 《玄關を彩るウインターリース》 【日程】11月26日(火)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】40人 《苔を楽しむ～桜の苔玉と苔テラリウム～》 【日程】11月14日(火)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【参加】19人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【合計参加人数】262人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>どの講座も例年人気の講座であり、定員を超えての開催もあった。実際の樹木を例にとり講義を行うなど、初めて参加したがわかりやすかったという声が多く寄せられた。また日ごろ困っている、自宅での樹木の手入れや植物の育て方なども講義中に対応し、参加者のニーズに合わせた講習会を今後も続けていきたい。今回も、若い女性の方も参加されていて、年代の幅が広い講習会を開催することができた。</p> <p>広報あひこで応募を募っているが、人気の講座などは会場の定員まで枠を広げて実施したが、キャンセル待ちの受付も断って対応する状況であった。人気あまり無い講座もあるため、内容について検討が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>		

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	90	<b>栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業</b>  食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる給食試食会を開催する。	・学校給食を教材とし、教科や給食時間・献立表・給食だより・HP等を通じて食に関する指導を行った。 ・6月に全校児童生徒を対象として朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。朝食を毎日食べる割合は、小学生92%、中学生87%であった。 ・8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子クッキング(料理)教室を開催した。  <b>●親子クッキング教室</b> 【内容】ビタミンたっぷり 夏野菜を食べよう 【対象】親子 【日程】8月2日 【場所】アピスタ 【定員】30人 【参加者数】30人 【申込者数】290人  <b>●親子料理教室</b> 【内容】10分でできる朝ごはんメニュー 【対象】親子 ①【日程】8月1日 【場所】湖北地区公民館 【定員】23人 【参加者数】20人 【申込者数】69人 ②【日程】8月2日 【場所】布佐南近隣センター 【定員】21人 【参加者数】18人 【申込者数】54人  ・11月に全校で学級別残菜調査を実施した。平均残菜率は2.0%であった。 ・授業研究会を年1回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【教室・講習会開催回数】 3回 【教室・講習会参加者合計】 68人	A. 成果・効果があった  親子クッキング(料理)教室については、参加者には好評であった。  親子クッキング(料理)教室については、平成21年度から11年間継続してきたが、実施回数や場所の制約で、参加者を増やすことが難しく対象者が限定される。また、企画や準備に学校栄養士の負担が大きく、事業の見直しが必要である。	B. 改善・見直しを行う  令和2年度以降は、教室を実施せず、学校毎に行う保護者給食試食会等の取り組みに力を入れる。	親子クッキング(料理)教室を実施せず、学校毎に行う保護者給食試食会等の取り組みに力を入れる。	学校教育課
			市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。9月にPR事業として展示を行った。  <b>●出前講座</b> 【講座数】 市役所メニュー 74 講座 市民講師メニュー 136 講座 キャンパスメニュー 30 講座 【年間利用状況】 件数: 152 件 (うち市役所メニュー:63件、市民講師メニュー:80件、キャンパスメニュー:9件) 人数: 3,199 人 (うち市役所メニュー:1529人、市民講師メニュー:1529人、キャンパスメニュー:141人)  ≪出前講座PR展示≫ 【日程】9月13日～9月27日 【場所】アピスタ1階エレベーターホール前  ◇◆指標と実績◆◇ 【利用者満足度・件数】(回答者 134人) ≪とても満足≫ 76%・102 件 ≪満足≫ 19.5%・26 件 ≪ふつう≫ 3%・4 件 ≪やや不満≫ 1.5%・2 件 ≪不満≫ 0%・0 件	A. 成果・効果があった  学習団体の問い合わせに対し、出前講座の制度を紹介することで、目的にあった生涯学習活動を支援することができた。パネル展示や、メニュー表を各所に設置したことが制度の周知につながった。利用者アンケートでは高い満足度を得た。  申し込み講座にかたよりがある。	A. 現状どおり推進  生涯学習の目的は多岐にわたるため、現状維持だけではなく、引き続きメニューの拡充を行う。出前講座の周知をするため、引き続きパネル展示や、メニュー表の効果的な設置を行い、利用件数を増やす。	生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
92	生涯学習推進事業  我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、講演会、学習の場の提供等を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習推進事業を開催する。	<p>●東京2020応援プログラム 目指せ！チアリーダー！！ 【日程】5月5日(日) 【場所】アビスタホール 【参加者】31人 【講師】中央学院高等学校チアリーディング部顧問</p> <p>●東京2020応援プログラム 自分史上最速を目指す！走り方教室 【日程】5月11日(土) 【場所】中央学院大学 【参加者】57人 【講師】中央学院大学教授</p> <p>●勾玉を作ろう！ドキドキ縄文体験 【日程】8月8日(木)及び10月6日(日) 【場所】湖北地区公民館及びアビスタ工芸工作室 【参加者】32人及び36人</p> <p>●令和はじめての夏休みだよ！お楽しみ16ミリアニメ映画会 【日程】8月8日(木) 【場所】アビスタ ホール 【参加者】68(大人20人、子ども48人) 【内容】第1部 落語で楽しもう！小晰のワークショップと落語「平林」及びアニメ『転失気』上映 講師 野原亭金助さん 第2部 知っているかな？盲導犬の話 アニメ『盲導犬クイールの一生』及び市内在住の盲導犬ユーザーのお話</p> <p>●段ボールで作る恐竜チエア 【日程】12月25日(水) 【場所】アビスタ工芸工作室 【参加者】親子6組12人 【講師】ちばテク我孫子校</p> <p>●親子deミニ門松づくり～手作りで迎えるお正月～ 【日程】12月26日(木) 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】親子10組20人 【講師】ちばテク我孫子校 ◇◆指標と実績◆◇ ●令和はじめての夏休みだよ！お楽しみ16ミリアニメ映画会 【アンケート結果】93%の方が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答</p>	A. 成果・効果があった  講座を通じて学ぶことやモノづくりの楽しさを知ってもらい、生涯学習に興味を持っていただけた。また、地域で活躍する方々を講師とすることで、講座参加者に地域への愛着等も感じていただけた。	A. 現状どおり推進	従来の単発講座に加え、市制施行50周年記念事業として「山下清展」及び「我孫子を知る1年」に特化した内容のイベント・講演会等を行う。	生涯学習課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり  
 ◎多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	93 人権教育 地域で活動する社会教育関係者及び市民を対象に、社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動及び学習活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権教育中央研修会 【日程】令和元年6月7日(金) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】各市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】①千葉県における人権教育の推進について(県からの説明) ②「ヘイトスピーチの現状と人権問題」 AITS新宿法律事務所 弁護士 師岡康子氏 ③人権啓発ビデオ『新・人権入門』『アニメめぐみ』等 ④分散会「各市町村教育委員会における人権教育の取組について」</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回:7月19日(金)、第2回:8月23日(金)、第3回:9月10日(火)、第4回:10月18日(金) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】各市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容:インターネット人権侵害、性の多様性、いじめ、被差別部落、視聴覚障害、男女共同参画、児童虐待、DV及び外国人母子家庭</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月12日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校教職員、保護者、教育委員、社会教育委員、人権擁護委員及び関係各課職員 【内容】①講演「性的マイノリティと人権～多様な性への偏見を外し、ともにによりよく生きるために～」 講師:ともに拓くLGBTQ+の会 くまもと代表 今坂 洋志氏 ②千葉県の人権教育</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【人権教育研修会参加者数】8名</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加者からは、とても参考になったという声があった。</p>	A. 現状どおり推進	●社会人権教育中央研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	生涯学習課
	94 スポーツ教室事業 様々なスポーツ団体と連携を図り優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かし、スポーツ教室を行う。	平成30年度より「健康スポーツ普及事業」と統合したため事業廃止 ◇◆指標と実績◇◆				文化・スポーツ課
	95 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、小学校を会場に、地域の団体と連携を図りながら、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	<p>◀地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～▶ 【日程】令和2年2月15日(土) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで広く</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【参加人数】322人</p>	<p>A. 成果・効果があった ニュースポーツを中心に行い、市民の誰もが気軽に参加できるイベントとなり、また地域のスポーツ団体と協働で行うことで、地域のコミュニティの形成にも寄与できている。</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	文化・スポーツ課
	96 鳥の博物館企画展の実施 鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	<p>●企画展示 【内容・日程】 第83回企画展「てがたん展—あひこで楽しむ自然観察—」H31. 2. 2～R1. 6. 16 第84回企画展「世界からみた日本の鳥」R1. 7. 13～11. 24 第85回企画展「第15回友の会展 万葉集の旅～鳥の鳴く東の国から太宰府まで」R1.12. 7～R2. 1. 13 第86回企画展「バンディング展 ～足環でわかる鳥の渡り～」R2. 2. 1～8. 30(期間延長)</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【入館者数(年間)】 指標: 37,000人 実績: 32,580人</p>	<p>A. 成果・効果があった 各テーマに沿った企画を分かりやすく解説し、来館者が興味を持って鳥についての知識を深めることができた</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響でオリンピックが延期となったため、第87回企画展に予定していた「(仮)鳥のオリンピック展」を令和3年度に延期することとし、第86回企画展「バンディング展」の期間を延長し、R2. 8. 30までとした。	鳥の博物館



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり			基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	97	<b>市民農園維持管理事業</b>  消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>農園利用者の新規募集(随時)</li> <li>農園利用料の徴収(6月)</li> <li>農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月)</li> </ul> <p>●年間を通じた市民農園の維持管理</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載)</li> <li>農園利用料の徴収</li> </ul> <p>【市民農園の詳細】</p> <p>《日秀新田市民農園》 総区画122区画のうち利用区画数109区画</p> <p>●収穫体験イベント</p> <p>《じゃがいも収穫体験イベント》</p> <p>【日程】令和元年6月22日(土)</p> <p>【場所】日秀新田市民農園内</p> <p>【参加者】72人</p> <p>《さつまいも収穫体験イベント》</p> <p>【日程】令和元年10月26日(土)</p> <p>【場所】日秀新田市民農園内</p> <p>【参加者】64人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【市民農園利用区画数】109区画(一般区画全122区画中)</p>	A. 成果・効果があった  令和2年3月末時点での日秀新田市民農園利用区画数は前年同月値と同程度であり、利用者の定着に伴い収穫体験イベントの参加人数についても前年と同程度であった。	A. 現状どおり推進	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実  新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、収穫体験イベントについては実施の是非について検討の上、見送り等の対応を行なう。(6月のじゃがいも収穫体験イベントについては内容を変更し、希望者へのじゃがいもの配布のみとした。)	農政課
	98	<b>親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)</b>  水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映を2回と星空たんけん観望会を4回実施した。(※台風及び新型コロナウイルスの影響で星空コンサートは2回中止となった。) <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【プラネタリウム投影事業参加者合計】746回上映 13,525人</p> <p>【星空たんけん観望会】4回実施 128人</p>	A. 成果・効果があった  プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体賞切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。  今後も水の館の展示内容・環境学習等さらに充実させ、水環境保全に興味・関心を持ってもらう場として活用を図る必要がある。	A. 現状どおり推進	【新型コロナウイルス感染症防止対策】 ○プラネタリウムの上映を2月29日(土)から6月7日(日)まで休止していたが、6月13日(土)より、つぎの感染予防対策を実施し、上映を再開した。 ・定員を25人(通常50人)とする。・マスクの着用・手指の消毒・入場者名簿の記入・入場前に検温の実施 ○水の館を3月24日(火)～5月28日(木)まで閉館したため、その間、1階手賀沼ステーション(生き物の展示施設等)は閉鎖となった。 ○1階環境学習コーナーに設置されている「手賀沼水中散歩」と展望室の双眼望遠鏡を利用休止している。2階手賀沼学習コーナーに設置されているデジタルサイネージ(タッチスクリーン)は、感染予防対策として綿棒を設置して利用を再開した。 ○予定していた夏季のじゃぶじゃぶ池の利用は中止することとなった。また、水の広場も同様に中止とした。	手賀沼課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	99	ふれあい工房の運営管理事業 クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具バザー等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	<p>●各種リサイクル教室 【内容】レジカゴバッグ、ブラウス、パンツ作り、鉢カバー、仏像、棚等、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、包丁研ぎ、など 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合があります)</p> <p>●夏休み子ども体験フェスタ 【日程】7月20日(土)・21日(日) 【内容】実体験を通したリサイクルの啓発</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【来館者数等】 利用者(延べ)1,134人 夏休み子ども体験フェスタ:167人/2日</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>リサイクル教室は、アドバイザーによる技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上を図ることに寄与したと考えられる。</p> <p>ふれあい工房の運営スタッフやリサイクル教室の指導に当たる技術アドバイザーが高齢化により集まらなくなっている。</p> <p>粗大ごみで排出される家具などの木製品が、安価な大量生産品に移行しており、リペアや加工できる質ではないためバザーに出せる製品が減っている。</p>	C. 廃止・休止	事業仕分け、パブリックコメント、運営協議会との協議、3月議会の承認を得て平成31年度をもって廃止とした。	クリーンセンター
	100	新たな文化交流拠点施設整備の検討 新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、令和元年5月にまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想案」をもとに機能規模の集約をするなど、「建設構想」策定に向けて、議会や市民の意見を聴きながらさらに検討を進めていく。	令和元年5月にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想(案)」を、文化団体会議やふれあい懇談会において市民に提示した。 5月24日(金)文化祭実行委員会時に市長が説明 5月26日(日)ふれあい懇談会[我孫子地区][天王台地区] 6月8日(土)ふれあい懇談会[新木地区] 6月9日(日)ふれあい懇談会[湖北地区][布佐地区] ◇◆指標と実績◇◆ 「建設構想」策定の進捗率	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>建設構想(案)の中で、検討のポイントが施設の規模、機能であること、費用についてもライフサイクルコストの視点が必要であることが周知できた。 施設の規模、機能等を一気に集約すること。</p>	A. 現状どおり推進	関係団体と意見聴取を行う。	企画課、生涯学習課
	101	地域交流教室の提供 学校の一部を市民の学習拠点として有効活用し、学習サークルや自治会などに学習の場を提供する。	地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要であると認める場合 【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室、湖北台東小学校:2教室 【予約件数及び使用団体数】 第一小学校:461件(稼働率52%) 14団体 布佐小学校:96件(稼働率23%) 3団体 湖北台西小学校:401件(稼働率41%) 12団体及び個人使用1 高野山小学校:254件(稼働率61%) 7団体 湖北台東小学校(2教室):1,097件(稼働率60%) 26団体 合計:2,309件 延べ62団体及び個人使用1 ◇◆指標と実績◇◆ 【提供コマ数】5,160コマ 【予約コマ数】2,835コマ 【有料使用コマ数】428コマ	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>延べ62の団体及び個人に教室を使用していただき、市民の学習活動の一助となっている。</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から使用中。現在のところ令和2年12月いっぱいまで使用中。	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
102	公民館施設管理運営  生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 中央監視装置修繕、オープンスペース床修繕、外壁タイル修繕、全熱交換器修繕等 ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・樹木剪定、草刈業務 ◇◆指標と実績◇◆ 今年度は外壁タイル修繕及びオープンスペース床修繕を実施した。外壁タイル修繕については、生涯学習センター利用者、歩行者に危険が及ばないよう十分に配慮し実施した。2階オープンスペースの床修繕においては、令和2年3月9日から3月29日までの工期の間は第2、第3、第4、第5学習室を使用不可として工事を実施した。 【保守管理執行率】 100%	A. 成果・効果があった  外壁タイル修繕を実施することにより、外壁タイルの欠落による事故を未然に防ぐことができた。	A. 現状どおり推進  施設修繕計画に沿って、施設修繕箇所に対する適切な対応を行いたい。	生涯学習センター総合管理運営委託がR2年度から5年間の長期継続契約となった。(R元年度入札) 空調設備更新工事設計業務委託(R3年度更新予定)	生涯学習課	
	湖北地区公民館空調設備更新工事  老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成28年度で完了したため廃止 ◇◆指標と実績◇◆					生涯学習課
	フリースポット (Wi-Fi) の提供  無線LAN (Wi-Fi) の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN (Wi-Fi) を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。  ◇◆指標と実績◇◆ 【無線LAN設置箇所】 1箇所	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進  機器が古く、学習室内まで電波が届かないため令和3年度予算で機器の更新を検討する。			生涯学習課
105	施設予約システムの運用  公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	30年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◇◆ 我孫子地区公民館 利用件数 8,048 利用者数 125,931人  湖北地区公民館 利用件数 3,216 利用者数 70,349人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進		生涯学習課、市民活動・文化・スポーツ課	

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり  
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	106 市民体育館管理運営	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 平成30年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◇◆ 【市民体育館利用者数】 163, 005人 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	市民体育館大規模改修工事を実施	文化・スポーツ課	
	107 体育施設管理運営事業、維持補修	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動整備業務・利根川ゆうゆう公園サッカー場補修業務（台風被害含む） ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈り・利根川ゆうゆう公園オフロードコース草刈り ●施設修繕 ふれあいキャンプ場炊事場照明修繕、ゲートボール場仮設トイレ修繕、ふれあいキャンプ場電灯盤修繕、湖北台中央公園庭球場休憩所屋根修繕（災害）、ゆうゆう公園野球場ポール修繕（災害）、五本松運動広場トイレ凍結防止フラッシュバルブ修繕、五本松運動広場トイレ修繕、つくし野多目的運動広場事務室流し水栓修繕 ◇◆指標と実績◇◆ 【体育施設利用者数】 74, 980人	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進		文化・スポーツ課	
	108 武道施設の建設整備の検討	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◇◆ 【整備進捗率】 0%	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進		文化・スポーツ課	
	109 市民体育館維持補修、改修事業	計画的に維持補修・改修を実施 ●維持補修・改修 ・市民体育館メインアリーナバスケットゴール修繕 ・野球場・テニスコートベンチ用照明修繕 ・受水槽天板パネル修繕 ・庭球場屋根塗装修繕 ・非常用発電機緊急修繕 ・野球場フェンス支柱塗装修繕 ・大規模改修工事に伴う設計業務 ・床面調査 ・メインアリーナ屋根台風被害修繕（災害） ・サブアリーナ外壁・壁樋台風被害修繕（災害） ・テニスコートネットフェンス修繕（災害） ・原材料の購入 ◇◆指標と実績◇◆ 【修繕・改修工事の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	大規模改修工事の実施	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	110 学校体育施設開放事業 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●小学校プール開放事業 ◀一般開放▶ 【日程】7月27日から8月18日までの23日間 【場所】我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、根戸、新木、布佐南、高野山の9校 ◀団体開放▶ 【日程】8月2日から8月6日までの5日間 【場所】二小、布佐小の2校  ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【プール開放利用者数】9,090人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】189,387人	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。  プール開放については、利用料金を徴収していないため、経費削減を図る必要があり開放校数の検討が必要である。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、プール開放事業は中止、学校開放事業は一部利用休止	文化・スポーツ課	
	111 ふれあいキャンプ場管理運営 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。  ◇◆指標と実績◆◇ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】701件、8,730人	A. 成果・効果があった 我孫子の魅力発信となっている。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部利用禁止期間を設け利用人数の制限を実施 令和2年7月日から利用料の改定を実施	文化・スポーツ課	
	112 文化財等の保存と活用 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	●文化財誘導板の設置…「水神山古墳」誘導板の設置(3箇所)、老朽化による「日秀西遺跡」説明板の新設 ●文化財展示会の実施【日程】2月15日～18日【参加者】1,467人 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ ◀竹灯籠の夕べ▶【日程】11月1日～2日【参加者】440人 ◀ひなのまつり▶【日程】2月26日～3月4日予定【参加者】新型コロナウイルス感染症の影響のため中止 ●郷土資料室等の運営…発掘速報展などの実施 ◇◆指標と実績◆◇ 実績【参加者合計】1,907人	A. 成果・効果があった 文化財を保存するだけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらい良い機会となった。	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルス感染症に十分注意しつつ、できる範囲で推進していく。	新型コロナウイルス感染症の影響のため、イベント(竹灯籠の夕べ、ひなのまつり)は中止。文化財展については、場所や方法等を検討中。説明板・誘導板については天王台駅から鳥の博物館周辺までの誘導板の設置を検討中。	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	113 杉村楚人冠邸の保存と活用	<p>●春期企画展「三島海雲と杉村楚人冠 カルピスと友情の物語」 【日程】3月12日～5月12日（前年度より継続） ●テーマ展示「てがみ展 お悔やみのてがみ」 【日程】5月18日～7月7日 ●夏期企画展「嘉納治五郎と手賀沼 幻の東京オリンピックをめぐる」 【日程】7月9日～10月6日 ●冬期企画展「観光案内と地図で見る楚人冠の旅」 【日程】10月13日～1月13日 ●テーマ展示「てがみ展 絵葉書いろいろ」 【日程】1月14日～3月8日 ●春期企画展企画展「『禪』が結んだ人びと 釈宗演と楚人冠の周辺」 【日程】3月10日～3月23日 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中断（本来は5月10日までを予定） ●ワークショップ「パンフレットを作ろう」 【日程】7月27日・28日 ●清接庵茶会（我孫子高校茶道部と連携） ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 【日程】3月20日 ◇◆指標と実績◆◇ 【来訪者（年間）】 2,612人</p>	<p>A. 成果・効果があった 質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、学生等との連携が必要になっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力アップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、6月8日まで閉館しており、実施できなかった企画展がある（来年度に開催予定）。茶会については、規模や手法を調整し、開催できるか検討中である。</p>	文化・スポーツ課	
	114 旧井上家住宅の保存と活用	<p>●母屋保存整備工事実施設計 令和元年6月1日～令和2年8月31日 ●母屋・新土蔵を使ったイベント 《鉄道模型運転会》【参加者】995人 【日程】5月4日・5日 《五月飾りと人形展》【参加者】1,334人 【日程】5月1日～5月5日 《SPLレコードコンサート》 【日程】6月15日【参加者】44人 ◇◆指標と実績◆◇ 母屋保存整備工事実施設計 70%</p>	<p>A. 成果・効果があった 母屋保存整備工事実施設計を適切に実施している。 保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進 邸内全域の保存整備工事を完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。</p>	<p>屋外トイレを設置するため実施設計を行う。</p>	文化・スポーツ課	
	115 白樺文学館の運営	<p>●常設テーマ 《白樺派と我孫子》 【日程】1月31日～11月24日（前年度より継続） 《民藝運動と我孫子》 【日程】1月29日～3月23日 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、中断 ●企画展 《芹沢銈介の装幀》 【日程】11月27日～1月26日 ●朗読・ピアノイベント 《白樺の調べ》 【日程】毎月1回開催 ●《文豪とアルケミスト キャラクターパネル「志賀直哉・武者小路実篤・有島武郎」展示》 【日程】4月27日～5月6日 ◇◆指標と実績◆◇ 【入館者（年間）】4,703人</p>	<p>A. 成果・効果があった 朗読・ピアノイベントを毎月実施し、来訪者の増加と認知の向上が図れた。 「白樺文学館リニューアル計画」を進めるためにも、寄付など財源の確保につとめる。</p>	<p>A. 現状どおり推進 白樺派の魅力をもっと多くの方に知っていただけるようなコラボイベントを推進していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、6月8日まで休館。また、エレベーター工事のため、8月1日～9月30日まで休館。白樺の調べは休止中。</p>	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	116 手賀沼文化拠点整備計画の推進	★H30年度事業完了。 ◇◆指標と実績◇◆  我孫子市内には、古墳や郡衙(ぐんが)などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけにとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。				文化・スポーツ課
	117 移動図書館業務	移動図書館車の更新について、助成金の申請を行ったが、不採択だった。移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金の午後に市内14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。我孫子第三小学校への巡回に続き、令和元年12月から、並木小学校への巡回を開始した。  ◇◆指標と実績◇◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 21,601冊 (昨年比) -0.8%	A. 成果・効果があった  天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。我孫子第三小学校、並木小学校の児童に移動図書館利用の場を提供することができた。  利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または移動の検討も必要である。現移動図書館車は平成13年7月に車両を更新してから19年が経過しており不具合も増えてきた。安全運行のためにも更新が必要である。	A. 現状どおり推進  移動図書館車の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、9月補正予算を要求する。また、学校、高齢者施設などへの移動図書館車の巡回など、移動図書館の可能性について検討していく必要がある。	10月に我孫子北ステーション(あびこショッピングプラザ)を新設する。	図書館
	118 図書館の整備	湖北地区図書館の整備については、湖北台地区公共施設(第1期整備)の整備方針と整合を図りながら、引き続き検討していくことになった。議会における陳情の動向待ちだったため、今後のあり方検討も中断していた。  ◇◆指標と実績◇◆ 【図書館運営今後のあり方打合せ】1回	A. 成果・効果があった  今後のあり方は中断したが、長寿命化計画を策定することができた。  厳しい財政状況の中で、図書館サービスの質を保ちながら運営方法を検討していく難しさがある。利用者が安全で安心して利用できるように施設の維持管理を計画的におこなう必要がある。	A. 現状どおり推進  引き続き、図書館の運営形態を検討していく。	議会における陳情が一段落したため、早急に今後のあり方を作成し起案していく。	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	119 図書館会議室及び展示スペースの提供 図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	布佐分館会議室を貸し出した。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。 《布佐分館》 第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回) 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年12回) ◇◆指標と実績◇◆ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 110回(昨年度比 109.0%) 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》100% 《湖北台分館》100%	A. 成果・効果があった ミニギャラリーについては、湖北台・布佐分館とも毎月展示があり盛況だった。市民の自主的な学習機会と発表の場を提供することができた。 会議室については、市役所内へ利用の呼びかけを行っているが、未利用の日もあり、一層の利用促進に努める必要がある。また、ミニギャラリーも展示者がマンネリ化しているため、関連団体へ呼びかけるなど新規開拓する必要がある。	A. 現状どおり推進 布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。	布佐分館の第1会議室に、ギャラリー機能を高めるためスポットライトを設置して、利用促進を図る。	図書館	
	120 鳥の博物館管理運営 鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	●施設設備修繕 1階男子トイレ配管つまり修繕 自動火災報知機受信機バッテリー 非常用照明交換 トイレタンクレバーハンドル ◇◆指標と実績◇◆ ●施設設備修繕 1階男子トイレ配管つまり修繕 6,480円 自動火災報知機受信機バッテリー 81,000円 非常用照明交換 194,400円 トイレタンクレバーハンドル 8,250円	A. 成果・効果があった 不具合箇所を修繕することで、利用者の安全確保や館内環境の維持を図ることができた。 施設点検業者からの修繕実施の指摘がある中、財政との調整が整わない。	A. 現状どおり推進 これまで通り、不具合が見つかった場合は速やかに対処するなど、快適な館内環境の維持に努めていく。	緊急時のため、早急に非常用ドアノブ交換修繕を実施する。 鳥の博物館の企画展等を周知するために、入口柱に看板取付枠を設置する。	鳥の博物館	
	121 鳥の博物館空調設備更新工事 施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	H28年度事業完了 ◇◆指標と実績◇◆				鳥の博物館	
	122 鳥の博物館展示リニューアル 科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	鳥の博物館学芸員で常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理している。 ◇◆指標と実績◇◆ 【入館者数(年間)】 指標: 37,000人 実績: 32,580人	A. 成果・効果があった 展示リニューアルするにあたって、有効な資料を収集できた。(文献等資料数86点)(令和元年度) 開館以来展示リニューアルや館の大規模改修をしていないことなどから、入館者が年々減じている状況である。	A. 現状どおり推進	基本計画を立案する。	鳥の博物館	



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 手賀沼ふれあいウォーク	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】11月9日(土) 【場所】手賀沼親水広場 【参加者数】326名 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(我孫子市、NPO法人千葉県ウォーキング協会、北総歩こう会、東葛ウォーキングクラブ、千葉県ノルディック・ウォーク連盟) ※平成30年度まで柏市と共催で実施してきたが、柏市が事業廃止したことに伴い、令和元年度より我孫子市単独で、実行委員会形式をとって実施している。  ◇◆指標と実績◆◇ 手賀沼ふれあいウォーク参加者数:326名	A. 成果・効果があった ・晴天に恵まれ、326人の方に参加していただいた。参加者アンケートの感想では満足したという声が多かった。健康に普段あまり気をつけていない方の参加も多く、このイベントが普段身体を動かしていない方にも運動に興味をもってもらい一助になったと考えられる。 ・会場場で東日本ガス展が開催されていたため、お互いにイベントの魅力を増すことができ、イベントを盛り上げることができた。また、農産物直売所あびこんで使える150円割引券についても使用率93.9%と好評であった。  ・20代の参加が1人のみと例年同様低い結果であった。結婚や子育てを控えた若い世代に我孫子の良さを伝えることにより、将来的な市への定住化を促す効果が考えられるため、若い世代の参加を促す工夫が必要である。	A. 現状どおり推進	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度は中止とした。	健康づくり支援課	
	123	手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。					
	124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	茨城県取手市と体育施設の相互利用を実施 ◇◆指標と実績◆◇ 一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数	A. 成果・効果があった 我孫子市内に整備されていない施設を市民が利用することでスポーツの親しむことができた	A. 現状どおり推進		文化・スポーツ課
125	手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第25回手賀沼エコマラソン 【日程】10月27日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【募集人数】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼エコマラソン参加者数】9,027人	A. 成果・効果があった 交流人口の拡大に寄与することができた	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により中止(負担金については、次年度大会に向けての実行員会事務局の必要経費のみ支出)	文化・スポーツ課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容		令和2年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	126	<b>市外図書館・大学・関係機関との連携協力</b>  千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	・千葉県立図書館巡回車(週1回)による県内図書館相互貸借業務 ・市内大学との連携による利用紹介状発行・図書相互貸借業務 ・国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務 ・千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務  ●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 1,607冊 【他図書館からの借入(B)】 5,442冊  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間相互貸借冊数(A+B)】 7,049冊	A. 成果・効果があった  多種多様な資料・情報に対する市民の要望は多く、その幅広いニーズに応えることができた。  全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。	A. 現状どおり推進  資料費が限られている中、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。		図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり		基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり					
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充		①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充					
127	(No.91再掲) 生涯学習出前講座の運営						生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録  自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。  【講座登録数】(令和2年3月31日時点) 市民講師メニュー 136 講座 【講師登録数】(令和2年3月31日時点) 講師: 50 人 団体: 7 団体  ◆◆指標と実績◆◆ 【新規登録数】5人	A. 成果・効果があった  市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進  出前講座のPRRの中に、市民講師へ登録の内容も盛り込み、登録数を増やす。市民活動ステーションの登録団体を紹介してもらうよう依頼し、登録数を増やしたい。			生涯学習課
129	(No.23再掲) 生涯学習人材バンクの整備						生涯学習課
130	アビスタ利用者保育スタッフ事業  生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全63回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児  【利用者内訳】 <毎週水曜日> 【利用回数】 44回 【利用者】 87人 <公民館事業(家庭教育学級、単発講座及び図書館講座)> 【利用回数】 19回 【利用者】 72人 ◆◆指標と実績◆◆ 【保育利用者】 159 人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進			生涯学習課
131	(No.24再掲) 生涯学習ボランティア						生涯学習課
132	文化事業市民スタッフの活用  教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日  【委嘱人数】 31人 【派遣件数】 8件 【派遣人数】 84人(延べ) 【派遣件名】 市民コンサート、郷土芸能祭、文化財展、フレッシュコンサート 他 【業務内容】 コンサートのチケットもぎり、会場整理、受付案内 他 ◆◆指標と実績◆◆ 【登録人数】 31人	A. 成果・効果があった  会場の設営・撤収、場内整理・誘導など手際よく、的確に行った	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率は減少。 郷土芸能祭、市民参加型コンサート、めるへん文庫表彰式等で派遣予定		文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 4 ②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業 防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、自助・共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	<p>●第10回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【開催日程】11月2日(土)、11月3日(日)、11月9日(土) 【開催場所】中央学院大学・消防本部 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 【募集人数】一般10名 学生30名 計 40名</p> <p>●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者) ◇◆指標と実績◆◇ 【災害救援ボランティア講座の受講者数】 22人(一般7人、学生15人) 【防災士 受験者数】 4人</p>	A. 成果・効果があった 災害救援ボランティア講座の受講者数が昨年より多く、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。	A. 現状どおり推進	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	市民安全課	
	134 失語症会話パートナー養成講座 失語のある人のコミュニケーションを支援するため、市民を対象に失語に関する知識と会話技術に関する講習と実習を行う。	<p>【H29事業終了】 平成30年度に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」における地域生活支援事業の必須事業である「専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成事業」の中に、失語のある人向けの意思疎通支援者を養成することが規定された。これに伴い、平成30年度より失語のある人向けの意思疎通支援者は、都道府県地域生活支援事業の一部の事業として実施することになったため、我孫子市での養成は終了した。 今後、意思疎通支援者が不足する場合に備えて、失語のある人向け意思疎通支援奉仕員の養成を検討する。 千葉県では、平成31年度より千葉県言語聴覚士会が委託を受けて失語のある人向けの意思疎通支援者を養成している。 ◇◆指標と実績◆◇</p>				障害福祉支援課(障害者福祉センター)	
	135 介護予防サポーター養成講座 高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、団体リーダー(シニアリーダー)向けに研修会(フォローアップ研修含む)を実施します。また、研修に参加したリーダーが、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	<p>1. 地域において住民主体で活動する団体向けに、認知症予防運動研修会を実施 【開催場所】我孫子市民プラザ 【時 期】令和元年4月下旬～5月下旬 【対 象】シニアクラブや自治会等の団体リーダー 【参加者数】6団体・20名 2. フォローアップ研修を実施(1団体あたり2回、述べ6回実施) 【開催場所】同上 【時 期】令和元年10月～11月 【対 象】介護予防強化型きらめきデイサービスのリーダー 体力づくり教室で活動中の健康生活サポートリーダー 【参加者数】23団体・54名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【研修会参加者へのアンケート結果】 研修会参加者のうち、「満足」と回答の方が約9割おり、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れてたいと回答があった。</p>	A. 成果・効果があった リーダー養成を行った結果、身近な地域の通いの場である介護予防強化型きらめきデイサービス(サロン)において、介護予防の取り組みを実施することができるようになった。 また、我孫子市リハビリ協会のリハビリ専門職(理学療法士)と連携して研修会を開催することで、専門的な立場からより効果的な指導を受けることができた。 身近な地域の通いの場で介護予防活動が行えるよう、引き続きリハビリ専門職と連携しながら団体のリーダーを対象に研修会(フォローアップ研修も含む)を開催し、シニアリーダーを育成していく必要がある。	A. 現状どおり推進		高齢者支援課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充						
	136 子育てサポーター養成講座 核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	●子育てサポーター・子育て支援員研修 【日程】 《基本研修》 6月14日(金)、6月21日(金) 2日間 《専門研修》 6月28日(金)、7月5日(金)、7月12日(金)、7月16日(火)、7月30日(火) 5日間 《保育園見学実習》 7月17日(水)～20(火) うち2日間 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人 【参加者】26人  ◇◆指標と実績◆◇ 【子育てサポーター人数】75人(新規 12人)	A. 成果・効果があった 活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動等に積極的に参加し、地域の子育て力の向上へとつながっている。 子育て支援員研修と併せて実施しているため、子育てサポーターの活動に結びつかない状況となっている。	B. 改善・見直しを行う 子育て支援員については、県の募集に申し込める状況になっているため、令和2年度以降は子育てサポーター養成講座のみの実施とし、子育てサポーターの育成を行っていく。	子育てサポーター養成講座として実施予定だが、新型コロナウイルス感染の拡大により実施時期は未定。	保育課	
	137 環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。	●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 5月25日(土) 古利根周辺の自然散策 7月27日(土) ホテル観賞会 11月23日(土・祝) 谷津の自然観察と谷津まつり、1月26日(日) 湖畔からの冬鳥観察 ●Enjoy手賀沼！ブース出展(パネル展示、ぬり絵) 【日程】5月12日(日) ●市民のチカラまつり2019(生物関連付けクイズ) 【日程】9月14日(土)、15日(日) ●環境レンジャー通信「たまっけ」の発行をする。 【発行日】4/16(74号) 10/15(75号) 1/15(76号) ●エコ・こども教室を開催する。 【日程】10月20日(日) ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◆◇ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】13人(サポーター含まず)	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】15人(サポーター含む) 環境レンジャー人数の減少	B. 改善・見直しを行う 新たにSNSなどを活用し、レンジャー活動の広報活動を実施する。また、レンジャーサポーターの募集方法について効果的な方法を検討する。		手賀沼課	
138 緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 《古利根自然観察の森活動》【日程】偶数月第2土第4水・奇数月第2日第4水 《古利根沼水辺の活動》【日程】毎月第3水 《中里市民の森活動》【日程】奇数月第4日 《岡発戸市民の森活動》【日程】偶数月第4日 ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子市みどりのボランティア登録人数】399人(内、古利根みどりのボランティア登録人数 33人)	A. 成果・効果があった みどりのボランティアの定期的な活動により、古利根沼や斜面林の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進		公園緑地課		
139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施 生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	各年で実施していたが、すでにスキルの高い方ばかりで研修の必要性がないこと、参加者が毎回同じ講師の方しか集まらないことにより、「共通認識の向上」、「講座の内容充実」に結びつかないため平成29年度より廃止(平成27年度が最後の実施)。 ◇◆指標と実績◆◇				生涯学習課		

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	140	<b>生涯学習審議会委員の研修</b> 【実施回数】3回 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会及び振興大会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月20日(火) 【場所】野田市中央公民館 【内容】人や地域が真につながるために～障害者差別解消法が描く共生社会から～ ●東葛飾地区社会教育振興大会 【日程】10月24日(木) 【場所】野田市中央公民館 【内容】人づくり、つながりづくり、地域づくり～社会教育を通じた豊かなつながりづくり～ ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月21日(火) 【場所】野田市興風会館 【内容】視察及び講話 ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習審議会委員の研修参加者数(延べ)】 9名	A. 成果・効果があった 昨年度より参加者が多く、審議会委員として知識を深めるとともに他市の委員との情報交換の場となった。	A. 現状どおり推進		生涯学習課
	141	<b>スポーツ指導者の研修制度の確立</b> 市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	平成30年度より「健康スポーツ普及事業」と統合したため事業廃止 ◇◆指標と実績◆◇				文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
③学んだ成果を評価するしくみの構築							
142	市民コンサート 市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらうため実施する。	●市民コンサート 【日程】12月21日(土)、22日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団 【来場者】736人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 736人	A. 成果・効果があった 38回目を迎えた市民コンサートは、市民に広く浸透しており、幅広い年代の方に鑑賞していただくことができた。	B. 改善・見直しを行う 本事業と市民文化祭は、市民に身近な環境で文化芸術に触れていただくという同じ目的を達成するために実施しているため、令和2年度より市民文化祭に統合し実施する。	③学んだ成果を評価するしくみの構築 市民文化祭に統合し、実施することとなっていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業中止	文化・スポーツ課	
143	市民参加型コンサート 市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを企画し、日々の成果を発表する機会を提供する。	●市民参加型コンサート 【事業名】白樺コンサート 【日程】令和2年2月16日(日) 【内容】雑誌『白樺』110周年と我孫子市制50周年を記念したコンサート 今から100年ほど前に聞かれていたピアノ曲、歌と朗読などをコラボした演奏会とSPレコードの鑑賞 【開催場所】市民プラザ ホール ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 100人	A. 成果・効果があった 音楽だけではなく朗読による演出やSPレコードの鑑賞などを取り入れたため、新しい形のコンサートとなった。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見て実施内容が変更になる可能性はあるが、合唱またはパーカッション、金管楽器、木管楽器のアンサンブル演奏会などを検討中。	文化・スポーツ課	
144	文化祭 多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】8月25日(日)～12月9日(月) 【開催場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門 ◇◆指標と実績◆◇ 【出演者数】 3,624人 【入場者数】 13,754人	A. 成果・効果があった 文化芸術団体に所属している方、個人で文化活動を行っている方々の発信・発表の場となっており、文化芸術活動の推進につながっている。 一般市民の参加が減少しているため、募集方法等検討を要する。 市民文化祭の会期を集約させる。	A. 現状どおり推進 実施方法としては現状どおりの推進をしていくが、開催期間の見直しが必要	令和2年度より、我孫子市民コンサートを本事業に統合し実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	文化・スポーツ課	
145	寄贈絵画展 市に寄贈された作品を有効に活用するため、作品の状態管理を行う。	●寄贈絵画展 文化財展とコラボレーションし実施していたが、中里薬師堂の十二神将像の修復が完了したため、仏像のみの展示とし、寄贈絵画の展示は行わなかった。 〈文化財展〉 我孫子市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像及び十二神将像の展示を行った。 【日程】令和2年2月15日～18日(4日間) 【場所】市民プラザ ギャラリー ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 1467人	C. 未実施・わからない	B. 改善・見直しを行う 寄贈作品の修繕を行ったのち寄贈絵画展再開の検討を行う。	寄贈絵画展は開催しない。寄贈作品の有効的な活用に向けて作品の修繕をすすめる。	文化・スポーツ課	
146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】全国の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】4月1日～9月30日 〈表彰式〉 【日程】令和2年2月23日(土) 【受賞】 小学生の部 1席1名、2席なし、3席3名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席10名 高校生の部 1席1名、2席1名、3席1名 古登正子賞 1名(受賞者の中から選出) ◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】 159編	A. 成果・効果があった 子ども達の創作意欲向上につながった。	A. 現状どおり推進	受賞者報償費を前年度より増額した。また、役員費についてもめるへん文庫作品筆耕料を追加増額した。 例年、夏休み中に創作活動を行い応募するというケースが多かったが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みが短期間であったため、応募数の減少が懸念される。	文化・スポーツ課	
147	(No.50再掲) 郷土芸能への支援					ポ文化課	
148	(No.125再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					課ス	

基本目標 4 学んだ成果を評価するしくみの構築

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり				基本目標 5 学びでつながるまちづくり			
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実				①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実			
149	市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラまつり 【日程】9月14・15日 【場所】けやきプラザ(我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階))、アビシルベ 【内容】「展示・発表・体験部門」では、市民活動団体による日頃の活動の成果を発表するパネル展示や、スタンブラリー、普遊び、工作、合唱、体験イベント、座談会などの参加型企画、参加団体によるステージ上でのパフォーマンス、福祉作業所の製作品、地元商店による食品販売等が行われた。 「企画部門」では、市民活動団体が社会課題等の解決や啓蒙等の講演会・勉強会の企画を自ら提案・運営を行い、広く市民を対象に実施した。 【参加者】人数:2,488名、参加団体:85団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】44人	A. 成果・効果があった 子供を対象とした企画を多く実施し、例年の来場者よりも比較的年齢が若い世代の来場が見られ、普段市民活動に触れることの少ない世代への啓発が図れた。	A. 現状どおり推進 実行委員会形式で実施し、昨年同様子どもを対象とした企画を実施し、子育て世代の参加を増やしていく。	基本目標 5 学びでつながるまちづくり ①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実 コロナウイルス感染症拡大の影響もあることから、従来は2日間の日程を1日にし、対面式を押し、展示とオンライン講座を中心に実施する。	市民活動支援課	
150	(No.61再掲) あびこ子どもまつり					子ども支援課	
151	(No.62再掲) げんきフェスタ					子ども支援課	
152	学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民・保護者・大学生などによる学校支援ボランティア活動を行う。	・学校支援地域本部が中心となり、各関係機関・団体、大学・高校と連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の支援活動ニーズと支援活動年間計画を作成する。 ・学校支援地域本部事業について、もう一度趣旨・目的を説明し学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動を進められるようにする。 【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 《小学校》延べ 31,923人 《中学校》延べ 12,669人 ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動実働人数】44,592人(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった 各校とも延べ人数での伸びは大きくはないが、事業への実質的な満足度は継続されている。今後も学校のニーズとボランティアのコーディネート推進したい。 学校支援地域本部活動から地域学校協働活動への広がりを緩やかに進めている。	A. 現状どおり推進	基本目標 5 学びでつながるまちづくり ①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実 コロナ禍の中、学校支援地域本部事業の中止・自粛もあり、数々の活動については減少しているが、消毒やマスクづくりなど、学校支援の内容については感染防止に細心の注意を図りながらニーズに応じた活動を進めている。	指導課	
153	(No.22再掲) 生涯学習相談体制の整備					生涯学習課	
154	(No.66再掲) 長寿大学					生涯学習課	
155	(No.69再掲) 家庭教育学級					生涯学習課	
156	(No.70再掲) のびのび親子学級					生涯学習課	
157	(No.48再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース					生涯学習課	

基本目標 5 学びでつながるまちづくり



NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
5	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成 在在外国人支援事業	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日31回、土曜日31回(火曜日は託児を実施) 【場所】アピスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】83人 【ボランティア講師】31人 【託児登録児童数】9人 【託児ボランティア】9人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【相談件数】10件 【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳派遣日数】13日 【通訳派遣数】のべ40人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、AIRAホームページの英訳(26件)、翻訳勉強会における講師業務(講師2名、計6回)、企業や個人からの翻訳要請への対応など。翻訳枚数66枚。 ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催回数】61回 ※新型コロナウイルスの影響で、令和2年2月と3月の講座の一部を実施できなかった。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室 学習者の状況やニーズに合わせて教材を選んで授業を実施した。ゲームを取り入れることで、学習者や日本語ボランティアが活発に会話できるよう工夫した。日本語ボランティア対象の研修会に24名が参加し、日本語の教え方のレベルアップを図った。これらにより、外国人が生活に必要な日本語を身につけることに繋がっている。</p> <p>●外国人相談窓口事業 AIRA事務局が相談窓口となり、暮らしや雇用に関する相談などに対応した。専門的な内容については関係部署へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。</p> <p>●外国語通訳派遣事業 北アリゾナ大学研修団の市長表敬訪問やジャパンバードフェスティバル等に通訳を派遣し、交流を深める手助けとなった。</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 市やAIRAが発信する情報の英訳・中国語訳・スペイン語訳等により、幅広い層へ情報発信することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、在在外国人の生活支援に必要な業務を我孫子市国際交流協会に委託する。</p>	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成 通訳や翻訳の件数が増加していることから、委託料を増額した。	企画課	
	158	在在外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。 【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◇ 【公募補助金交付件数】8件	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【次年度申請分審査状況】 審査申請:1件(新規申請1件) 審査結果:採択1件、不採択0件</p> <p>制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。既得権益的な制度となっていることは今後の課題と考える。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。</p>		市民活動支援課
	159	市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。 【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償 【支払】 ≪傷害≫ ・支払件数:8件 ・支払金額:293千円 ◇◆指標と実績◆◇ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任についてすべて補償。	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため支援を継続する。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>		市民活動支援課
160	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。						

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣  資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<p>《出前講座》 【日程】平成31年6月19日(水)9:45～11:15 【場所】アビスタ第4学習室 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】我孫子を知る継続コース 15名</p> <p>【日程】平成31年10月15日(火)14:30～16:00 【場所】我孫子南近隣センターホール 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】あびごシニアクラブ 50名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【申し込み団体数】 講師派遣 2団体</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>廃棄物施策に対する市民の理解が深まった。</p> <p>職員減による講師不足、解体工事等に伴う施設見学の一時中止</p>	A. 現状どおり推進		クリーンセンター	
162	我孫子市創業支援等事業  市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援等事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】令和元年6月16日(日)、6月30日(日)・7月14日(日)・7月28日(日)09:15～17:00 【場所】アビスタ・ミニホール 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方などなたでも。定員30人参加者24名 【費用】8,000円</p> <p>●『我孫子市ビジネス交流会』 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】令和元年12月7日(土)13:30～16:30 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。【定員・参加者】定員30名 参加者19名 【費用】無料</p> <p>●『起業個別相談会』 実践創業塾やビジネス交流会などの支援を受けた後、実際にスタートするまでの間に一人で苦勞してなかなか起業出来ない方が多いことから、起業前の準備段階の時期に専門的な支援を実施することで、今後の起業件数の増加に繋げる機会として開催。 【日時】令和元年9月21日(土)9:00～15:00 【場所】我孫子市商工会 【対象者・定員・参加者】市内でこれから起業する方、起業して間もない方 定員15名 参加者13名 【費用】無料</p> <p>●『女性起業支援フォーラム』 先輩女性起業家の講演や参加者同士の交流会等の女性に特化した創業支援を実施することにより、女性の起業率を高めることを目的として開催。令和元年度は、地元女性起業家による展示会も同時開催。 【日時】令和2年1月18日(土)13:00～16:00 【場所】我孫子市南近隣センター ホール 【対象者・定員・参加者】市内で起業予定の女性の方、市内の女性事業者 定員50名 参加者29名 【費用】無料</p> <p>●『4日間の創業プラン作成スクール』 創業に必要な知識を講義と実践で学び、創業計画書を作成する4日間のカリキュラム。 【日時】令和2年1月11日(土)から毎週土曜日 【場所】千葉商工会議所 【対象者】県内で創業をお考えの方 [定員・参加者]定員30名 参加者31名(我孫子市民1名) 【費用】無料 ◇◆指標と実績◆◇ 【起業者数】 令和元年度の起業者数は6名(法人2名・個人4名) ※このうち、実践創業塾からの起業者は2名(個人2名)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>国の認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画に定めた創業者目標数(平成26年度から6年間で47名)を令和元年度末時点でも達成できていることから、各施策共に効果があったと考える。※平成26年度から毎年目標数を達成している。</p> <p>一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないので、複合的な支援が必要と考える。これまでもどのような支援を希望されているのかを知るためアンケートなどを行ったが、今後も起業者数を増やしていくため、起業予定者のニーズを更に探り、そのニーズに合った内容の支援を行っていく必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、感染状況が悪化した際には創業塾のONLINE開催を予定。	企業立地推進課	

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成 基本目標 5 学びでつながるまちづくり	163	<b>市民の学習活動への支援</b> 広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	生涯学習情報の発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ HPアクセス数： 4952件 生涯学習情報発行部数：2,800部 相談対応件数： 約80件 【新規登録】 人材情報： 5件 団体情報： 9件	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進		生涯学習課
	164	(No.25再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出					生涯学習課
	165	<b>社会教育団体活動支援</b> 市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●後援 市民団体の講演申請に基づき、29団体、33事業の後援を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【後援数】33事業	A. 成果・効果があった 後援33事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進	R2年9月1日から共催・後援の他に「協力」が加わることとなる。	生涯学習課
	166	<b>文化芸術団体活動支援</b> 文化芸術団体の活動を支援し、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	◇◆指標と実績◆◇ 【共催事業数】 60件 【後援事業数】 70件	A. 成果・効果があった 文化芸術団体等が実施している事業を共催・後援することにより、活動の活性化が図れた。 共催としている事業の精査を要する。	B. 改善・見直しを行う	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止が相次いでいる。	文化・スポーツ課
167	(No.95再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～					ポータル課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
168	施設・団体への図書等の貸出サービス 市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで、貸出依頼のあった学級に対して、学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。 各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で、依頼のあった場合に随時貸出をした。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 【年間団体貸出冊数】 31,350冊 【団体の年間利用回数】 1,830回 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間団体貸出冊数】 31,350冊(昨年度比 96.7%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、学級文庫実施クラス数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持した。継続して実施していることで効果を上げており、子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。	A. 現状どおり推進 市民の学習機会を充実させるために必要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	新型コロナウイルス感染症の影響により、学級文庫は2学期から開始する。	図書館	
	鳥に関する学習への支援 鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのパードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	展示解説、ガイドツアー、展示交流を行った。 夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行った。 また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行った。 ●団体来館者への展示解説及びガイドツアー 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)と共に、土・日曜日を中心に、30分程度の館内のスポットガイドを実施した(通年)。 【団体案内件数】 94団体 【案内実施人数】 1492人 ●市民スタッフによる展示交流 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐した。 【実施日数】269日 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】 年間443件 ●調査研究への協力 博物館資料(複製)の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】 66件(276点) 【館外】 1件(2点) ●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。 【相談件数】 16件 ◇◆指標と実績◆◇ 【団体来館者の解説件数(ガイドツアー含む)】 指標:120件 実績:94件	A. 成果・効果があった 必要に応じて展示解説を行うことで、初めての来館者も展示に親しみを持って見学することができる。市民スタッフに案内してもらって展示を楽しく見ることができたという感想も寄せられている。 解説希望の団体の見学者人数によっては対応が難しい。	A. 現状どおり推進	展示解説、ガイドツアー、展示交流を行っていくが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が自粛されている。	鳥の博物館	
	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援 市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	●市民スタッフ(30名) 環境学習リーダーや来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行う。 【活動内容】年間を通じての展示ガイド、自然観察会ガイド、室内イベント補助、標本整理補助等活動を行う ●友の会(291名) サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 【活動内容】鳥風教室、和紙を使った工作イベント等を共催。 ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:390人 実績:321人	A. 成果・効果があった 市民スタッフと協働で事業を行うことにより、職員だけでは対応しきれないきめ細かな来館者対応が可能となり、サービス向上につながった。 また、友の会との工作を中心とした共催事業により、これまで博物館を訪れたことのない利用者の来館を促すことができた。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策から鳥の博物館での活動を自粛している。	鳥の博物館	

② 新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 基本目標 5 学びでつながるまちづくり	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	<p>国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。</p> <p>●第21回国際交流スピーチ大会 【日程】9月29日(日) 【場所】市民プラザ多目的ホール 【内容】中学生から社会人までの24名(英語の部13名、日本語の部11名)が参加。小学生対象の「レシテーション Recitation」では、第一小学校と並木小学校の6年生5名が、それぞれのテーマで作文し、暗唱で発表した。審査の時間帯には、山階鳥類研究所広報コミュニケーションディレクターの平岡孝氏による「正倉院宝物バードウォッチング」の講演が行われた。</p> <p>●第28回あびこ国際交流まつり 【日程】11月24日(日) 【場所】市民プラザ(多目的ホール・ギャラリー・サロン) 【内容】テーマは「友好を翼にのせて」。ホールでのダンスや演奏、伝統芸能などの演目、ギャラリーでの各国ブースの民芸品や食べ物の販売。その他、ロビーでのお茶席、着物体験など。また、令和元年度は「東京2020応援プログラム」としての認証を受けて開催し、嘉納治五郎についての展示などを行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【催しへの来場者数】 ≪スピーチ大会≫ 162人 ≪国際交流まつり≫ 680人</p>	A. 成果・効果があった 中学生を中心に、スピーチ大会への参加者が大幅に増加し、若い世代の国際交流への関心が高いことが伺えた。平成30年度から実施している「レシテーション」では新たに第一小学校からも参加があり、小学生が英語に触れる機会をつくることができた。	A. 現状どおり推進 引き続き、我孫子市国際交流協会と連携しながら事業を実施していく。	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国際交流スピーチ大会とあびこ国際交流まつりの両方について、令和2年度の開催を中止とする。	企画課	
	消費生活展の実施	<p>●第44回消費生活展 【日程】令和2年2月1日、2日 【場所】市民プラザ 【テーマ】「このままでは危ない！ 私たちのくらし」 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】785名 【対象者】市内外の消費者</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】785名</p>	A. 成果・効果があった 参加団体に加えて、川村学園女子大学のボランティア協力などにより、生活展を盛り上げて実施することができた。	A. 現状どおり推進 事業としては、現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、令和2年度においては、アビスタストリートにて、パネル展示のみ実施予定。	新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、令和2年度においては、アビスタストリートにて、パネル展示のみ実施予定。	商業観光課	
	エンジョイ手賀沼	<p>●Enjoy手賀沼！2019～令和元年カーモンベイベーTEGANUMA～ 【日 時】5月12日(日) 【場 所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者】 約13,000人</p>	A. 成果・効果があった 水の館のじゃぶじゃぶ池の改修工事のため、例年より会場を移して多目的広場で実施した。 約13,000人の来場者があり、子供から大人まで非常に盛り上がった。	A. 現状どおり推進	・新型コロナウイルスの対策を講じ、延期して実施することも検討したが、安全の観点から中止となった。	手賀沼課	
	(No.30再掲) 健康フェア					り健康づくり課	
	(No.45再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催					手賀沼課、環境課、のり場課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
③ 多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築 5 学びでつながるまちづくり	176 青少年相談員連絡協議会への支援 青少年相談員連絡協議会が実施する子どもの自主性、協調性を育む事業や会議運営について支援していく。	●青少年ポッチャ大会(後援事業) 【日程】11月30日 【場所】高野山小学校体育館 【対象】市内在住の小学生を含む3人1チーム 【募集】26チーム  ◇◆指標と実績◇◆ ●青少年ポッチャ大会 参加者 45人(15チーム)	A. 成果・効果があった  ●青少年ポッチャ大会 青少年の健やかな成長を育む活動としてポッチャ大会を通し、地域や年齢の異なる子どもと生活することにより、誰とでも協力することの大切さを学ぶとともに、自主性を育むことができた。  学校行事や習い事をする子どもが増えるとともに、夏は熱中症・冬はインフルエンザ等の感染症に注意する必要が生じ、休日であっても開催時期を十分考慮する必要がある。 青少年相談員の新たな担い手の発掘。	B. 改善・見直しを行う 青少年事業(共催)については、キャンプ等、宿泊を伴う事業に参加できる相談員が少なくなっている。また、全小学校を対象とした事業(青少年綱引き大会)も中止になり、共催事業を実施していくことが困難な状況である。 事業名を青少年相談員事業から青少年相談員連絡協議会への支援と変更したい。	予定していた実施内容は令和元年度と同様だったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いポッチャ大会などの事業はもちろん、役員会も書面開催等で行う必要が生じており、事業の実施が難しい状況となっている。	子ども支援課	
	177 (No.41再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっくクラブ)					子ども支援課	
	178 子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月7日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。  ◇◆指標と実績◇◆ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ: 8,512人	A. 成果・効果があった 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動の紹介、各種イベントを実施することで、子育てに関する情報提供及び、保護者のリフレッシュの場となった。	A. 現状どおり推進 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動等についての情報提供を行っている。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、今年度は子育て関連の展示のみとして9月26日に実施予定。	保育課	
	179 学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のための臨時休校により、第3学期は5校のみの実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加  ◇◆指標と実績◇◆ 市内各小中学校19校で、年4回実施。 評議員数 小学校 76人 中学校 36人	A. 成果・効果があった 各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	A. 現状どおり推進 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定	新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のための臨時休校に伴い、年間2~4回の実施計画とし、感染予防策を講じた上で実施する。	学校教育課	
180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業 大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用するとともに、人材の育成を図る。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》 131人 《中央学院大学》 58人 《その他の大学》 262人 ◇◆指標と実績◇◆ 【実働人数】 451人	A. 成果・効果があった 市内の2大学では、ボランティアに関する単元や担当者を設定し、取り組んでくれている。二大学や我孫子高校などの理解協力体制の充実があり、今後に繋げていきたい。 市の東側の学校へのボランティアが、学校の所在地の関係や交通費の関係もあり少ない傾向がある。	A. 現状どおり推進	コロナ過の中で、実習生やタマゴプロジェクトの学生を中心に、エリアを絞り感染防止に留意しながら推進している。	指導課		

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
181	<b>キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）</b>  子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合っ て職場体験学習を実施する。	<b>●職場体験学習</b> 中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。 <b>【日程】</b> 6月～2月 <b>【参加者】</b> 実施人数 1,020人(中学校1年生477人・2年生543人) 小学校においては実施しない。 <b>●特別活動を要としたキャリア教育</b> 全小中学校において全教育活動を通じてキャリア教育を実践する。 <b>●キャリア教育担当者会議</b> 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】</b> 19校 <b>【協力職場数】</b> 480 箇所	<b>A. 成果・効果があった</b>  小中一貫教育の実施に合わせ、教育計画全体でキャリア教育の推進を実施する体制が整い、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。  新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」を各校の実態に応じてどう活用し、キャリア教育の推進に活かしていくかが課題である。	<b>A. 現状どおり推進</b>  小中一貫教育と合わせて「我孫子市キャリア・パスポート」を活用し、小学校から高等学校までの期間を通じたキャリア教育を推進する。	4月から小中学校全校で「我孫子市キャリア・パスポート」を完全実施している。ほとんどの中学校において、コロナウイルス感染症予防のため職場体験学習を他の方法に変えて実施することとしている。	指導課	
	<b>生涯学習審議会の運営</b>  生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<b>●生涯学習審議会会議</b> <b>＜第1回＞【日程】6月21日(金)</b> <b>【議事】</b> 1 平成30年度我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況報告について 2 我孫子市成人式の対象年齢について 3 「我孫子市ラブホテルの建築規制に関する条例」に基づく審査会委員の推薦について <b>【報告事項】</b> 1 eモニターの結果報告について 2 文化財保存活用地域計画策定協議会について 3 生涯学習審議会委員の任期満了に伴う解職について  <b>＜第2回＞【日程】7月16日(火)</b> <b>【議事】</b> 1 会長選任及び副会長の指名について 2 平成30年度我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況報告について 3 令和元年度我孫子市第三次生涯学習推進計画における課題について 4 公民館あり方部会の設置について <b>【報告事項】</b> 1 文化財保存活用地域計画策定協議会の委員について ◇◆指標と実績◆◇ <b>【審議会開催数】</b> 2回	<b>A. 成果・効果があった</b>  今年度は意見をいただきたい生涯学習推進に当たっての主だった課題について事前に事務局で準備し、委員へ提示することでより効果的・効率的な会議進行となったため、活発な意見交換ができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>			生涯学習課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

③ 多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

NO	事業名 趣旨・目的	令和元年度実施内容			令和2年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
183	(No.126再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力						図書館
184	図書館実習生受入・施設見学  中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	◀職場体験学習▶◀中堅教諭等資質向上研修▶◀インターンシップ▶◀施設見学・町探検▶等を受け入れた。 ◆◆指標と実績◆◆ 【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 987人(前年度 1, 105人)	A. 成果・効果があった  将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験をえられる機会を創出できた。  図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じて、より興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。	A. 現状どおり推進  キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。			図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流  テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) 【日程・内容】 毎月第2土曜午後13時30分から14時15分まで ◀第1回▶4月20日「フラッグ付きシギ・チドリの観察記録」【参加者】32人 ◀第2回▶5月18日「日本に渡ってくるハマシギの亜種はどれ?」【参加者】26人 ◀第3回▶6月5日「万国共通な学名が図鑑によって違うわけ〜キジやコウノトリはどうなってる?」【参加者】18人 ◀第4回▶7月20日「渡り鳥の不思議〜春と秋で違うルートを使う種類がいるのはなぜ?〜」【参加者】52人 ◀第5回▶8月17日「鳥類標本の作り方〜いろんな標本をつくってみよう」【参加者】34人 ◀第6回▶10月19日我孫子駅におけるイソヒヨドリの繁殖調査【参加者】31人 ◀第7回▶12月21日「実は日本のカモレ類が減っています」【参加者】26人 ◀第8回▶1月18日「絶滅寸前?オガサワラカワラヒワの特徴とその保全」【参加者】45人 ◀第9回▶2月15日「鳥の色彩と構造色」【参加者】40人 ◀第10回▶3月21日「鳥の換羽とその野外観察の面白さ」※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  ●鳥学講座inJBF 【日程】11月2日(土) 【内容】鳥の鳥類学〜南西諸島の鳥をめぐる自然史〜 【講師】高木昌興さん(北海道大学大学院理学研究員教授)・水田拓さん(山階鳥類研究所保全研究室長)・尾崎清明さん(山階鳥類研究所副所長) 【参加者】172人  ◆◆指標と実績◆◆ 【共催した講座等の数】 指標: 10回 実績: 9回	A. 成果・効果があった  協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の影響により、テーマトークについては、オンラインで実施していく。	鳥の博物館	

⑥多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり